

朝が来る、
半ば狂う。

◎登場人物

- 白田 善吉 (うすた ぜんきち)・・・31歳。フリーの映像クリエイター。
- 平崎 ゆの (ひらさき ゆの)・・・27歳。白田の恋人。
- 安室 秀子 (あむろ しゅうこ)・・・20歳。女優の卵。
- 出水 明沙 (でみず めいさ)・・・32歳。フリーのアートディレクター。
白田の友人。
- 鳥栖 八平 (とりす はつぺい)・・・年齢不詳。謎の男。白田の探偵役を買って出る。
- 黒乃 信 (くろの しん)・・・47歳。大手映像制作会社「紅新社(くれないしんしゃ)」の社長。通称・クレしんのクロしん。ユーチューブ番組「ムービー登竜門」を主催。
- 牝小路 邦経 (ひんこうじくにつね)・・・65歳。「ムービー登竜門」の司会。不動産ベンチャーの社長。投資家。
- 米尾 照美 (よねお てるみ)・・・38歳「紅新社」のプロデューサー。「ムービー登竜門」審査員。
- 宝生 八雲 (ほうしよう やくも)・・・28歳。とある罪に悩まされる男。
「紅新社」勤務。「ムービー登竜門」のディレクター。
- 荒手 心音 (あらて ここね)・・・35歳。八雲を受け持つ精神科医。
- 保田 亜論 (やすだ あるん)・・・28歳。八雲の友人。
- 竈門 すてら (かまど すてら)・・・28歳。八雲の幼馴染。
- 日暮 明日人 (ひぐらし あすと)・・・33歳。フリーター。

○第0幕

【照明…地明かり 白田家】

客入れ。

開演直前、トボトボと歩いてくる白田。

ゆっくりと横になり眠りにつく。

【照明…暗転】

○第一幕第一場

舞台は白田の事務所兼自宅。

開演とともに目覚ましの音。

【BGM…スマホのアラーム】

【照明…地明かり 白田家】

白田、アラームを止める。

しばらくするとスムーズ機能でまたアラームが鳴る。

白田、アラームを止め、起き上がる。

シャワーを浴びる。

【BGM…シャワー】

シャワーから戻ってきて、歯を磨く。えずく。

えずきながらも歯を磨き続ける。

吐いてはいるが、何も出ない。出るのは胃酸だけ。

少し落ち着いて移動する。

そこへ、出かける身支度をしたゆのが現れる。

ゆの ♪あー、だから今夜だけはー。君を抱いていたいー。あー。明日の今頃

は、僕は汽車の中ー。(心の旅・チューリップ)

白田 ふるっ。

ゆの え？

白田 いや。

ゆの ねえ。

白田 ん？

ゆの 吐いてた？
白田 ……。
ゆの 私心配だなー。毎日毎日。ま。そうは言っても私にできることなんて何にもないんだけどさー。
白田 吐いてない。えずいてただけ。
ゆの 同じじゃない？
白田 ……。
ゆの 善ちゃんはすぐ無理しちゃうから。今日もプレゼン？
白田 え？ ああ。うん。
ゆの 大丈夫！ 善ちゃんは面白いから！
白田 ……面白かったらもっと売れてるよ。
ゆの 売れてるイコール面白いとは限らないでしょ？
白田 でも、まあ、そうかもな。
ゆの え？
白田 俺は映像クリエイターなんて名乗ってはいるけどさ。結局俺の作りた
ゆの いものを俺だけの感性で作ったことなんて一度もないんだよね。
ゆの どういうこと？
白田 いつも、視聴者がどうだとか、クライアントがどうだ、とか売れる方
向はどうだ、とか自分の好き、以外の要素がさ、いっぱい入って。それは俺の、
なんだ？ クリエイティブって言えるのかね？
ゆの さあ。私はクリエイティブの言葉の定義もわからないからねー。
白田 (笑って) 確かに。
ゆの 何笑い？
白田 定義のわかんないものについて悩んだってしょうがないのにな。
ゆの しょうがないのかしょうがないのかも悩んでみないとわからない
かも。
白田 でも大丈夫。もうすぐ終わる。
ゆの 終わる？
白田 新幹線。大丈夫？
ゆの え？
白田 時間、間に合う？ 実家帰るんでしょ？ 今日。
ゆの あ！ やばいかも！

白田　じゃあもう行かなきゃ。
ゆの　ねえ何を終わらせるの？
白田　また今度ね。
ゆの　えー。
白田　また今度。
ゆの　わかった。また今度ね。
白田　うん。
ゆの　また今度！　じゃ、いつてくるね！　気をつけてね！　無理しないで
ね！
白田　そっちも、気をつけて。
ゆの　無理しないでね！
白田　……。
ゆの　無理しないでね！
白田　3回も言わなくていいよ。
ゆの　返事がないから。
白田　え？
ゆの　無理しないでね！
白田　……。わかった。無理しない。
ゆの　よし！　じゃあいつてきます！
白田　……。いつてらっしゃい。
ゆの、去る。

○第一幕第二場

白田、ため息をつき、部屋を整理する。
そしてパソコンを立ち上げる。

【BGM：チャイムの音】

白田　はい。

白田、玄関へ向かう。

臼田 あー、入って入って。
安室 お邪魔します。

臼田、安室を部屋に案内する。

臼田 遠かったでしょ？

安室 まあ。でも渋谷から一本だったの。

臼田 そかそか。最近は撮影でしか家出ないし、撮影にも車で行くから電車の
感覚があんまりなくて。

安室 そうなんですね。

臼田 コーヒーでも淹れようか？

安室 あ、いえ、お構いなく。

臼田 そっかそっか。

安室 あの、明沙さんは？

臼田 ああ、なんか、遅れてくるって。朝イチで打ち合わせがあるみたいで。

安室 お忙しいんですね。

臼田 売れっ子だからね。

安室 そう！ 私びっくりしたんですけど、今やってるドラマ！ あの広告
業界の！ あれのポスター作ってるの明沙さんなんですね。

臼田 あいつは昔っからセンスの塊って感じだったからね。

安室 センスの塊？

臼田 なーんか、ふわふわとさ、感性で生きてるっていうか。

安室 へえー。

臼田 それに比べて、俺は誰にでも作れるような、量産的な作品しか作れてな
いからねー。

安室 そんなことは。

臼田 それに、まあ、あいつは同じフリーでも社会的には「クレしん」の資本
入ってるからね。俺みたいに仕事が途切れるなんてことはまずないわけで。

安室 ……。

臼田 あれ？ 知らない？ 「紅新社」。通称「クレしん」。広告映像業界の最
大手ね。俺も明沙も元々あそこの出身でさ。

安室 ……。

白田 安室ちゃんも女優さんだから、多分どっかで関わってるとは思うけど。

安室 ……。

白田 ほら？ そのこの社長がやってるユーチューブ番組が有名じゃない？

「ムービー登竜門」。

安室 あ。

白田 あれ？ 見たことない？ これ。

白田、スマホを出して安室に見せる。

白田 「ムービー登竜門」。志願者が作りたいムービーの企画を紅新社の社長とプロデューサーにプレゼンして、よかつたら企画にお金出してもらえるっていう。

【BGM…ユーチューブ】

白田、ユーチューブの音声流れる中、安室に内容を解説する。

牝小路 今回の希望金額とムービーの企画内容を教えてください。

白田 ほら、これ。司会の牝小路。牝小路って珍しい苗字だね。

A はい。希望金額が1000万円。ムービーの企画内容は「言葉のない世界で巻き起こる、手話で伝わる感動ムービー」です。

白田 これ挑戦者ね。

牝小路 それでは参りましょう！ キャッチザドリーム！ 動画で夢を掴み取れ！

米尾 まずは簡単に経歴をお願いします。

白田 そうそうこの人。

A 高校を卒業致しまして、3年浪人した後に芸術大学に入学しました。現在3回生になります。

白田 (前のセリフに被せて)この米尾つてのがクレしんの敏腕女プロデューサーね。

安室 あ。

米尾 手話で伝わるとおっしゃっていますが、そもそも字幕で伝わるので

は？ と思ってしまうんですが、そこはいかがでしょうか？

A えっと、それはですね。

黒乃 どうしてもアミールで撮りたいんですか？

安室 あの。

牝小路 あーご覧の皆様に分かるようにご説明しますとアミールというのは。

白田 (前のセリフに被せて)これが紅新社の黒乃信。クレしんのクロしん。社長ね。

安室 (前のセリフに被せて)あの！

白田 え？

安室 知ってます。

白田 知ってる？

安室 止めてください。

白田 え？

安室 止めてください！

白田、再生を止める。

白田 何よー。

安室 白田さん、私のこと覚えてますか？

白田 はい？

安室 覚えてますか？

白田 もちろん。安室ちゃんでしょ？ 女優の。えーつとちよつと事務所は忘れちゃったけど。

安室 紅新社も、黒乃信も、ムービー登竜門も、全部あの日に話したことなんですけど、覚えてないんですか？

白田 ……。

安室 覚えてないんですね？

白田 (笑って)ま。んー。だいぶ酔ってたからさ。ね？

安室 どこまで覚えてるんですか？

白田 いや、だからー。あの日は、うん。明沙と飲んで。で、まあいつもの如く終電を逃しまして、ね。で、バーにでも行こうかーってバーに行ったら、安室ちゃんが一人で飲んでて。

安室 飲んでて？

白田 で。明沙は途中でタクシーで帰って。俺らはこう朝まで飲もうかーみたいなノリで。

安室 ノリで？

白田 え？

安室 ノリで？

白田 ホテル。

安室 ホテル？

白田 には行ってないかな。うん。行ってないと思う。

安室 行ってない？

白田 行った？

安室 まあ、いいです。で？

白田 うちで飲みなおうそうか、なんて。

安室 うち？

白田 俺んち？ まあでも、そんな風にもならずにならずに？

安室 ならず？

白田 3人でまた飲もうねーって言って今日になってる？ のかな？

安室 覚えてないんですか？

白田 ごめん！ 何を？

安室 復讐の話。

白田 復讐？

安室 クレしんのクロしんへの復讐の話ですよ！

白田 俺が？

安室 それで3人で盛り上がったんじゃないですか！

白田 ……マジで？

【BGM…チャイムの音】

白田 はい。

安室 え？ なんですか急に。

白田、玄関に行つてすぐ戻つて来る。

安室 明沙さんですか？

白田 いや、んー。あの、ちよつとトイレとか行きたくない？

安室 はい？

白田 うん。トイレ行っておいた方がいいよ。

安室 なんですか？

白田 いや、んー、あー、あっちの部屋で。うん。あの、明沙のアートデイレクターとしての作品集あるから！ うんちよつと。それ見ようか。まずは、ね。ほら、昔やってた鉄道のポスターとかも。

安室 なんですか？

白田 んー。だから、関係してるんだよね、こう。明沙の作品と。その、今回の復讐ってやつがさ。

安室 そうなんですか？

白田 そうなんだよ。

白田、安室を無理やり別の部屋へ案内する。

【BGM：再びチャイムの音】

白田 はいはい！

○第一幕第三場

ゆのが戻ってくる。

白田 あれ？ お前、新幹線。

ゆの 実家の鍵持つてくの忘れちゃって。

白田 新幹線は？

ゆの 時間変更してちよつと遅らせた。

白田 そっか。

ゆの 誰か来てるの？

白田 え？ ええ？

ゆの 玄関に靴が。

白田 あー。うん。仕事のね！
ゆの もしかして明沙さん？
白田 そう！ あいつが来てんだ。
ゆの じゃあ挨拶しなきゃ。
白田 いい！ 大丈夫！ あいつ挨拶されんの嫌いだから。
ゆの そうなの？
白田 見た目通りじゃん？ かたっ苦しい感じは嫌いなのよ。
ゆの そっか。
白田 鍵は？
ゆの ああ。どこやったかなー

鍵を探す二人。

ゆの ♪もしも許されるならー。
白田 許されることならー（ハモる）
ゆの 眠りについた君をー。
白田 あーあーあー
ゆの ポケットにつめこんでーそのままつれ去りたいー。あ、あったあった！
白田 よかった。
ゆの うん。じゃあ、明沙さんよろしく。
白田 あ、うん。ほら、気をつけて！ 改めて、いってらっしゃい！
ゆの うん！ 改めて、いってきます。

ゆの、去る。

【BGM：再びチャイムの音】

○第一幕第四場

明沙 開いてるから入るねー。
白田 うおい！ 勝手に！
明沙 いいじゃないいいじゃん。
白田 いいけど。え？ 待って！ ゆのとすれ違わなかった？

明沙 は？ なわけないじゃん。
白田 そか。ならいいけど。
明沙 ゆのちゃんがどうかしたの？
白田 いや。
安室 ゆのって誰ですか？
白田 ゆの？ ゆのって聞こえた？
明沙 ゆのちゃんは善吉の彼女だよ。
安室 彼女？
白田 いや。
安室 あ、明沙さん、お久しぶりです。
明沙 久しぶり。
安室 で。白田さん。ゆのさんって彼女さんなんですか？
白田 や。まあ。
安室 あれ？ この間白田さん私とホテル行きましたよね？
明沙 うわー。こいつマジか。
白田 うわー。やっぱり行ってたんだー。
明沙 覚えてないのかよ。
安室 覚えてないんですね、やっぱり。
明沙 ほんとごめん！ こいつそういうやつなんだわ。
安室 そういうやつって。
白田 いや、でもあれ。ちよつと冷静に考えて。問題ない。うん。問題ない！
安室 何がですか？
白田 だって、あれなんだよ。ゆのは、死んじゃったから。
安室 え？
白田 1年前にね、死んじゃったからさ。だから、問題ないの。
安室 明沙さんどう思います？
明沙 最低男。
安室 ですね。
白田 いや。でもね。
明沙 そんなことより！ 早いとこ本題を話さない？
白田 本題？
明沙 クレしんのクロしんへの復讐。

白田 その件なんだけどさ。
明沙 何？
白田 安室ちゃんってなんで一緒にいるの？
明沙 は？
白田 いや。
明沙 あんた本当に復讐する気あるの？
白田 そりゃ、もちろん。
安室 じゃあなんで覚えてないんですか？
白田 そう言われると。まあ、はい。ごめんなさい。
明沙 緊張感ねえな！
白田 いらなんだよ。そんなのは。俺の復讐にはさ。
明沙 は？
白田 ジメジメした復讐はごめんだからね。復讐つてのは、炭酸飲料振りまくつて、プッシュャー！みたいなのが気持ちいいんだよ。
明沙 カッコつけちゃって。
安室 信じていいんですよね？ 白田さんは本当にクレシんのクロシんを恨んでるって、復讐するって。
白田 そこは信じてもらっていいよ。今俺に仕事がほぼないのは、俺が昔、クレシんのクロシんにはむかったから。だから俺は業界を干されて細々と紅新社の息がかかってない案件を名前を伏せながらこなしてる毎日を送ってる訳なんだから。
明沙 この前も言ってたと思うけど、これは本当のこと。
安室 どうしてはむかったんですか？
白田 さあ、どうしてだったけな。
安室 覚えてないんですか？
白田 覚えてなくて申し訳ないけれど、改めて聞いてもいいかな？ なんで安室ちゃんはクレシんのクロシんに復讐したいの？
安室 私は。

【BGM…再びチャイムの音】

白田 あ、ごめん。誰だろ？ はーい！

○第一幕第五場

白田、玄関に向かう。

鳥栖が酒瓶片手に入ってくる。

鳥栖 よゝ白田ちゃん。今日も飲もうよゝ。

白田 どうしてここに？

鳥栖 言ったでしょゝ。探偵引き受けるゝつて。俺は白田ちゃんの味方だよ。

明沙 あ！鳥栖さん！いいところに！こつちこつち！

安室 この人は？

明沙 飲み仲間の鳥栖さん。

鳥栖 どうも、鳥栖ですゝ。

明沙 ちようど今作戦会議してたんですよ！

鳥栖 そうなの？えーなんで呼んでくれないの？ま、でもタイミングよ

く来れたからいっかゝ。

白田 いや、俺はよくないんですけど。

鳥栖 冷たいこと言わないでよゝ。

白田 どうしてここの住所がわかったんですか？

鳥栖 だからゝ。この前飲んだ時、言ったじゃない？探偵だって。朝飯前。

白田 だからね、俺にはその頼んだ記憶ってのがないんですよ。

鳥栖 でもねゝ。深い話したのよゝ結構。覚えてないのはそつちが悪くない？

白田 いや、まあ、覚えてないことは謝るんですけど。

安室 それも覚えてないんですか？

白田 まあ。

安室 飲んでる間の思考回路どうなってるんですか？

白田 知らないよ。いや、俺が知りたいよ。

鳥栖 後日明沙ちゃんも入れて飲んだ時は記憶無くさなかったのにねゝ。

白田 モードがあるんですよ、モード。

鳥栖 モード？

白田 まあ、世間一般の言葉で言うとかケ酒モードです。その時は大体記憶無
くします。

安室 私と会った日もヤケ酒だったんですか？

白田 まあ、ね。

鳥栖 白田ちゃんの悪いところはね、そのヤケ酒モードになっちゃうと、覚えてないのにペラペラ話すところね。人間、酔うと本音が出るっていうでしょ？白田ちゃんの場合は、酔うと本心が見えづらくなって虚実折り混ぜっちゃうんだよね。

白田 俺めっちゃ厄介じゃん。

明沙 いや、あんたは厄介だよ。もっと自覚した方がいい。

白田 たまにしか飲まないの？ 1ヶ月に2回くらいしか飲まないの？

明沙 その時の飲む量が異常なんですよ。最近ほぼ記憶飛ばしてんじゃん。

白田 逆によくお前俺とうまくコミュニケーションとれてんな。

明沙 そりゃ長い付き合いだからね。

鳥栖 で？ 作戦会議？ 面白そうなことしてるね。仲間に入れてよ。俺もちゃんとお土産持ってきてるからさ。

白田 お土産？

鳥栖 白田ちゃんに頼まれてたやつ。

白田 え？ 本当ですか？

明沙 じゃあ話、戻しましょうか！ 安室ちゃんがどうしてクロしんを恨んでるかっつて話！

鳥栖 安室ちゃん！ 俺も仲間だから。よろしくねー。

安室 あ、はい。

明沙 じゃあ、二度手間ですり訳ないけど、話してもらえる？

安室 私。

白田 うん。

安室 ……。

白田 うん？

鳥栖、お酒を安室に注ぐ。

鳥栖 一杯いっとく？

安室 あ……。すいません。はい。頂きます。

白田 お酒飲むの？

明沙 いいから！
白田 まあ、いいけど。

安室、お酒に口をつける。

安室 あの、私。あの、監督に。

白田 クロしんに？

安室 無理やりヌードにさせられたんです。

間。

鳥栖 んー。話づらいかもしれないけど、もう少し詳しく教えてもらってもいい？

安室 それはムービー登竜門で企画された映画でした。志願者はあくまで原作として関わって、監督は黒乃信がやることになったんです。制作は米尾プロデューサーでした。

鳥栖 なるほど。

安室 そういうシーンがあること自体は知ってて、それは承知でオーデイションを受けたんです。でも、ヌードになることは聞かされていませんでした。

鳥栖 事務所が隠していたのか、製作サイドが隠していたのか。

安室 わかりません。わからないですけど、撮影直前に楽屋で待機してる時に、ふと助監督の人がコンテを持つてることに気づいたんです。

鳥栖 んーと。それはコンテをもらってなかったってこと？

安室 はい。脚本だけで。あれ？ そういえば私、まだこのシーンのコンテもらってないな、って思って、その助監督の人にコンテを見せてもらったんです。そしたらそこに下着を外すっていう表現があって……。

鳥栖 脚本の方には書かれていない表現ってことね。

安室 そうなんです。すぐにマネージャーさんを呼んで確認してもらいました。そしたら楽屋に米尾プロデューサーと黒乃監督が入ってきて。「もうカメラを回すスタンバイができてしまっているから一旦回させてほしい。」って話がありました。一旦ってどういうこと？ とは思ってたんですが、「とりあえずコンテ通りに撮影して、編集の時に不都合なシーンがあれば、申し出てくれれば」

ばカットする。」と言われたんで、現場の空気感もあって、私はそれにOKを出してしまいました。結局、撮影の後、編集に関して何も連絡がないまま、試写会当日になってしまつて。そこで私のヌードシーンが公開されてしまったんです。もちろん、抗議文は出したんですけど、なんの応答もなく……。

鳥栖 揉み消されたつてことか？

白田 そりゃ酷い話だ。けど、あり得そうな話でもある。

安室 ヌードが出てしまつて、ネットでも私の裸に関して、色んな書き込みとかがあつて。

白田 あいつらはほんと勝手だからね。

明沙 で。善吉くんよ。

白田 はい。

明沙 こんな話を忘却していた自分をどう思いますよ？

白田 ……こんな話、忘れることあるか？ つて思います。

明沙 なんでそこで他人事なんだよ！

白田 いや。まあ、そうだよな。

安室 信用してもらえないつてことですか？

白田 いや、そういう訳じゃないんだけど。

安室 じゃあどういふことですか？

白田 いや、自分の脳みそがいよいよやばいなつて思つてき。

鳥栖 どういうこと？

白田 いや、なんですかね。そもそも俺はき、センスや才能でモノが作れるタイプじゃないから。

明沙 でしょうね。

白田 お前、就活の時適職診断したことある？

明沙 あるよ。

白田 クリエイター向き？

明沙 まあ、そうだったね。

白田 俺はね、なんだつけな。コンサルだつけな。

明沙 ぼいじゃん。

明沙 悔しくてき、何回もやり直した。

明沙 意味あんのそれ？

白田 ない。ないけど、自分に嘘をつかない範囲で選択肢を調整して、なんと

かクリエイターにならないかなーって。

明沙 なったの？

白田 ならなかった。

明沙 だろうね。

白田 周りのやつらがさ、「クリエイター向きとか社会不適合者ってことじゃない！」「まあ私引きこもりだったからねー」みたいなことをほざいてたんだけど、俺はその社会不適合者になりたかったんだ。

明沙 変なやつ。

白田 でも俺は、引きこもりでもないし、社会にある程度うまく馴染んでるし、そこそこ成績も優秀で、コミュニケーションもそこまで取りづらくなくて、こう、割とうまいこと、調子よく、社会に迎合しながら生きてけちゃうタイプで。

鳥栖 それは自慢かな？

白田 違います。

鳥栖 ここに無職がいるんだけど。ある程度無職の前で話をしていると
いう意識をく持ってもらえるかな？

白田 いや、でも本当にそうです。俺は無職になれない。

鳥栖 どっちだよ？ 貶されてる褒められてる？

白田 だから、社会から外れたつぼくなれるように行動してきたんです。鳥栖
さんみたいな人と飲んだくれるような生活をしてきたんです。自分が面白く
なれるように。

明沙 充分面白いけどな、あんたそれ。

白田 行動してきた結果がこれだ。

明沙 これ？

白田 クロしんへの復讐会議なんてやってる。

明沙 社会不適合者じゃーん。

白田 それにさ、安室ちゃんの言ってることが、どこか他人事のように聞こえて。

明沙 他人なんだからしょうがなくね？

白田 違う。湧いてこないんだよ。

明沙 インスピレーションが？

白田 違う。感情がだよ。安室ちゃんに対する同情心とか可哀想だなと思う気

持ちとか、そういうのが湧いてこなくて代わりに。

明沙 代わりに？

白田 あー、このエピソードはクロしんへの復讐に使えるなーって。これであいつに勝てるんじゃないかって。そんな思考ばかり働くんだ。

安室 ……私は嬉しいですけどね。

白田 え？

安室 変に同情されるより、そう言ってもらえた方が。嬉しいです。見せかけの同情とか、求めてないんで。

白田 あ、いや。なんだろう。そう言ってもらえると、アレなんだけど。

安室 白田さんはクロしんに業界から干されてるってことですよ？

白田 ああ。まあ。

安室 やりたいことができずに、縛られてる。

白田 まあ。

安室 苦しんでる。

白田 まあ。

安室 じゃあ大丈夫です。

白田 でもアレよ！ アレなのよ！ 楽しく生きたいのよ。うまく伝わるかわかんないけど、社会不適合者に憧れはあっても、自分はそうなりたくなくて、なんなら、社会不適合者ってダメじゃんとか思ってるんだけど、でも面白いもの作れりゃ、売れりゃ、その引きこもりだの、鬱だのが正当化されるのが気に食わないというか、俺は一般人でうまく世間とやれてるけど、その中でも面白いもん作ってやるぜ、的な？ だからこの復讐も、あれ。嫌なんだよ。映画の主人公みたいにメラメラメラさ。重い重い！ もっとうしろしゅぱーっと、軽い気持ちでいきたいのよね。

鳥栖 白田ちゃんさー。ちよつと今これやってみたらー。

白田 え？

鳥栖、スマホを渡す。

白田 適職診断？

鳥栖 今なら？ どうかなく？

白田 ……。

白田、スマホを操作する。

鳥栖 どう？

白田、3人にスマホの画面を見せる。
クリエイタータイプ。

白田 クリエイターでした。

明沙 10年の月日は長いってことね。人を変えるには充分。

鳥栖 ねえ、どんな気持ち？

白田 あー。社会不適合者って嫌だなーって気持ちです。

鳥栖 それはなぜ？

白田 俺は不適合にならずに面白くなりたかったからです。あと。

鳥栖 あとー？

白田 俺は今、作品を生んでないから。

鳥栖 生んでない？ もう少し詳しく言うところ？

白田 作品を生まないクリエイターなんて、社会のゴミですよ。

鳥栖 (笑って)俺の仲間じゃな〜い？

白田 え？

鳥栖 世の中には〜作品を作った気になってるゴミが多すぎる〜。そう思うんだよね〜。

明沙 無職のくせに過激な発言。

白田 ま、まあそう言うことになるんですかね。

鳥栖 その筆頭が、クロしんだよ〜。ムービー登竜門なんて聞こえはいいけど、クリエイティブを。そして若き才能の芽を、資本の暴力でぶん殴ってるだけだ。金稼ぎの欲にまみれた世界で本物のクリエイティブはできない。

明沙 その話でいうと、私もお金のためにクリエイティブしてる社会のゴミになるんだけど。

鳥栖 そう。その通り〜。だからこの復讐はゴミがゴミを叩く復讐ってこと〜。

白田 鳥栖さんって何者なんですか？

鳥栖 だから。有能な無職だって。色々掘り出して来たよ。紅新社の闇を。不正経理に、パワハラ問題・セクハラ問題。極めつけはこれ。総務省への接待問題。

白田 総務省へ接待？

鳥栖 合計120万円。しかも、そこに総理の息子も同席。素晴らしいね。日本のクリエイティブは！

白田 どうやってそんな情報。内部にいなかったら。

鳥栖 究極の無職！

白田 無職なのが勿体無い。

鳥栖 1000年に1度の無職！

白田 いいですね。後は「ムービー登竜門」への出演権獲得です。

安室 出演権？

白田 「ムービー登竜門」は定期的にライブ配信回というのがある。そこで黒乃を目の前に全ての不正を暴いてやる！

安室 なんて？

白田 え？

安室 マスコミに情報リークしたら、それでおしまいじゃないの？

白田 リークしても揉み消される可能性もある。

安室 じゃあネットとかで拡散して。

白田 嫌いなんだよね。そういう対決の仕方。

安室 え？

白田 紅新社を辞める時、俺は社長室に乗り込んで、直接文句を言いに行つた。裏でブーブー不満を言うのが嫌だったから。干されてる間だって、そのことを細々とネットの海に垂れ流すことはできたかもしれない。でもそれってさ。なんか違うんだよね。性に合わないんだ。直接手を下さないと、俺は納得できない人間なんだ。

安室 どうしてそこまで？

白田 安室ちゃんはどうか？

安室 え？

白田 できれば安室ちゃんにも「ムービー登竜門」に出てもらいたい。そしてそこで、さっきの話をして欲しいんだ。

安室 ……いや、私は。

白田 怖いよね？ わかるよ？ でも、そこで怖がって後ろに下がってしまったと人は弱くなる。一度逃げた人間は逃げグセがつく。ここが踏ん張りどころだよ？ 一緒に戦おう？

安室 ……無理。

白田 無理？

安室 私は、できません。

白田 なぜ？

安室 できないし、こんな話聞いてなかった！

白田 そりゃ居酒屋でそんな話できるもんか。今初めて言った。でも計画はもともとそうだ。フリーのクリエイターとして、俺はあの番組に出演して直接対決する。それ以外の方法は考えてない。

安室 なんて？

白田 なんて？ 言ってる意味がわからない。安室ちゃんは言ってたじゃない？ 居酒屋で！ あいつを社会的に抹殺したいって！ できることなら首しめて殺してやりたいって！ やろう？ 居酒屋の戯言で終わらしちゃダメだよ？ それは弱い人間のすることだ！ 強くなろう！ 一緒に！ あいつを倒そう！

安室 なんてそんなことだけ覚えてるの？ 勝手にやって。私は直接やる気はないです。

白田 なんてよ？

安室 きつとまたそれで叩かれる！

白田 いいじゃないそれでも。大局を見失っちゃいけないよ？ 大事なのはあいつを抹殺すること！ それで自分が嫌われたり、ネットのおもちやにされるのは二の次だ。

安室 私はそこまで自分を捨てられない。

白田 捨ててないよ。むしろ自分を大切にしてる！ 自分を大切にしてるから他者がどうでも良くなるんだよ！ わからない？

安室 私にはわからない。ごめんなさい。私は、この作戦にはのれません。失礼します。

安室、去る。

白田 ……フラれちゃった。
明沙 世の中あんたみたいな人間ばかりじゃないの。
鳥栖 直接対決とか「タイムマン」とか、かつこいいよね。でもさ、世の中、
正攻法じゃ勝てないことの方が多いのよ。
白田 それはわかってます。でも、だからこそそれは正攻法で勝てるチャンス
じゃないんですか？
鳥栖 白田ちゃん。俺は反対してないじゃない。やろうよ正攻法！

○第一幕第六場

【BGM…バトルビート】

【照明…抽象】

全員 恥の多い生涯を送って来ました。(太宰治「人間失格」より)
白田 なんて言うつもりはない。
全員 自分には、人間の生活というものが、見当つかないのです。
白田 なんて言うつもりもない。俺は昔から妄想が嫌いだった。
A 朝起きたらスーパーマン！
B いじめっ子をやっつけて！
C たちまちクラスの人気者！
D 朝起きたら超イケメン！
E 学校ではモテまくり！
F 原宿でスカウト受けちゃった！
G 朝起きたら芸術の才能開花！
H 美術でたまたま描いた絵が賞をとる！
I 新進気鋭のアーティスト！
白田 そんな妄想をして何になる？ 気休めにもならない。
A・D・G だって私たちは弱いから
B・E・H そうやって自分を慰めて
C・F・I 辛い現実をなんとか生きていく
白田 弱くてもいい？ そんな訳ない。この世界は弱いやつが損をする世界
だから。

全員 それは忘却の彼方。ある日のこと。

白田、A、B、Cに取り囲まれる。

A てめえ調子のんじゃねえぞ。

白田 ……お前らが調子のんじゃねえよ。

B (笑って) 何言い返してんだよ!

C えー何こいつキモ。

白田、Cに飛びかかる。

C なんだよ!

白田 お前は殺す。お前だけは殺す。

AとBに引き剥がされながらも、Cに向かう白田。

C なんで俺ばっか!

白田 嫌いなんだよ。

B あ?

白田 自分より弱い人間に偉そうにされんの。

全員 それは忘却の彼方。ある日のこと。

D 善吉ってモテなそうだよねー。

白田 ……あー、昨日ワンナイトしたわ。

E え? 嘘でしょ?

白田 いやー、あれだね? 人妻はキスの時が一番盛り上がるね! 後は情

性? キスの瞬間がさ、背徳感もあって一番興奮する。

F そんなのどこで出会うの?

白田 なんか、行きつけのバー? マスター曰く、そこで出会って結婚したカ
ップルとかいるんだってさ。

全員 それは忘却の彼方。ある日のこと。

G お前多分、才能ないよ？

白田 雑誌載りました。

H は？

白田 才能ゼロでも雑誌って載れるんですか？

I そんなレベルの話してないから！

白田 そうかもしれないですけど、スタートラインには立ってますよね？

全員、小声で悪口を言う。

「調子に乗ってる」「生意気」「一言多い」「黙ってる」「自意識過剰」
など。

白田 言わせておく。俺は弱いやつ仲間になりたくない。

全員、少しボリュームアップして悪口を言う。

白田 言わせておく。俺は力が足りてないかもしれないけどこいつらみたい
に逃げはしない。

全員、さらにボリュームアップして悪口を言う。

白田 言わせておく。こいつらを相手にしてたらキリがないから。自分のやり
たいことはその先にあるから！ くだらないやつらに足を引つ張られたくな
い。

A 妄想するのは弱いやつ！

B 陰口言うのは弱いやつ！

C 行動しないの弱いやつ！

D 言い返せないの弱いやつ！

E 戦えないのは弱いやつ！

F 自殺するのは弱いやつ！

G 依存するのは弱いやつ！

H 努力しないの弱いやつ！

I 馴れ合いするのは弱いやつ！

全員 弱いやつ！ 弱いやつ！ 弱いやつ！ 格好悪い弱いやつ！ 弱いやつ！
弱いやつ！ 弱いやつ！ 夢の邪魔する弱いやつ！

白田 共感を得ようとは思わない。共感して群れるのは弱いやつが好むこと。
ゆの どうしてそんなに弱いのが嫌いなもの？

白田 逆にどうして弱さを受け入れられるの？

ゆの え？ だって弱いんだもん。しょうがないじゃん！

白田 (笑って) そうやって言い訳して逃げてるだけだよ。

ゆの でもさ。シマウマがいるでしょ？

白田 シマウマ？

ゆの シマウマはライオンに勝てないでしょ？ 勝てないから逃げるための
力が発達してあの模様なんでしょ？ シマウマがライオンになりたがっても
仕方なくない？

白田 それはわかる！ わかるけど！ 俺はそれでも！ ライオンになりた
い！

ゆの そうやって善ちゃんが戦い続けるのはカッコよくて好きだよ。

白田 ありがとう。

ゆの でも、無理しないでね。

白田 それは無理だろ？

ゆの え？

白田 無理しないとシマウマはライオンになれないだろ？ いや無理したつ
て無理なんだから、多少の無理じゃだめだ。

ゆの そうだね。

白田 だから俺は無理をするんだよ。

ゆの そっか。でも私は善ちゃんが好きだから、善ちゃんが辛そうなのは、見
てて私も辛いよ？

白田 俺だって辛くなりたくて辛くなってるんじゃないからねえから。

ゆの もちろんそれは知ってるんだけど。私は、善ちゃんがめちやくちや有名
になったりとか、めちやくちやすごい賞とか、そういうの取らなくても善ちや
んのことすごいと思うし。善ちゃんがつくるもの素敵だなんて思うよ？

白田 でもそれじゃ俺がダメなんだよ。世の中には俺より強いやつが、俺より

面白いやつがいっぱいいて、そんな中で自分より弱いやつ相手に偉そうにしてたってしょうがないんだ。

ゆの そうなのかな？

白田 え？

ゆの 人生って勝つことが大事なのかな？

白田 資本主義だからね。

ゆの そういうのはわからないけど。

白田 資本主義っていうのは、だから、金があるやつ、つまり金持ちが強いってこと。

ゆの そういうのはどうでもよくて。

白田 どうでもいいことないでしょ。その社会で生きてるんだから。

ゆの ーそうだな。付き合っつて初めての夏休みの終わりにさ、めちやくちやいっぱい線香花火買って、2人でひたすらそれに火をつけて、どっちが長く火がついてるか競争したの、覚えてる？

白田 もちろん。

ゆの 何勝何敗だった？

白田 覚えてない。

ゆの そういうことでいいんじゃない？

白田 え？

ゆの 私は善ちゃんと一緒に、ご飯食べたりとか、映画見に行ったりとか、ちよっとお散歩したりとか、そう言うので十分楽しいけどな。

白田 俺だって！ 俺だってゆのに認められてればそれでいいって思ってた時期もあったよ！ でもダメなんだ。もう、それじゃあ、ダメなんだ。

ゆの なんでダメなの？

全員 お前は誰だ？ シマウマか？ お前は誰だ？ ライオンか？ お前は誰だ？ シマウマか？ お前は誰だ？ ライオンか？

白田 知らないって。ただのたとえ話でしょ。全員人間だろ。全員人間だから、苦しいんじゃない。

○第二幕第一場

【BGM…ラジオ体操】

【照明・病院 抽象】

荒手と八雲が残る。
病院。

荒手 どうです？ 睡眠の方は？

八雲 夢を、見るんですよ。

荒手 夢？ どういった夢ですか？

八雲 一人の女性の夢です。

荒手 一人の女性に？

八雲 まるで恋人のように。

荒手 恋人ですか。

八雲 いえ、恋人ではないことはわかっているんです。全部妄想。ありえないこと。仲良くご飯を食べたり、仲良く旅行に行ったり、仲良く歌を歌ったり。

荒手 良い夢ではないのですか？

八雲 悪夢です。

荒手 なぜ悪夢なのですか？

八雲 それが現実では起こりえないことをわかっているからです。わかった上で夢を見させられている。

荒手 夢は夢です。楽しんだらいいと思います。

八雲 いえ、私は楽しむことを許されていません。

荒手 ねえ、八雲さん。あれからどのくらい経ちましたか？

八雲 ちょうど1年くらいでしょうか。

荒手 1年間、何を考えて生きてきましたか？

八雲 何も。

荒手 何も、ですか？

八雲 はい。なんか、あの。歌があるじゃないですか。ラジオ体操。

荒手 ありますね。

八雲 （口ずさむ）新しい朝が来た。希望の朝だ。

荒手 はいはい。

八雲 新しい朝が来ることは間違っていないと思うんです。でも、希望なんてどこにあるんですかね？

荒手 希望は探すものじゃありません。

八雲 え？

荒手 希望は抱くものですよ。自分の意志で、こう、ね。

八雲 1年前から、波がなくなりましたよね。

荒手 そうですね。

八雲 この病気は、躁状態とうつ状態を繰り返すんじゃないんですか？

荒手 決まったスパンはありませんから。

八雲 また、躁状態になったら私は、あんなことをしてしまうんでしょうか？

荒手 もう大丈夫ですよ。あなたは充分反省しています。

八雲 躁状態になりたがってる自分がいるんですよ。

荒手 躁状態も良い状態とは言えません。

八雲 確かにそうです。そのせいでいっぱい借金もして、何かできる気になって、クリエイターみたいな、自分の性に合っていない業界に飛び込んで、寝ずに働いて。気の迷いにしては、代償がデカすぎます。

荒手 その通りです。大事なのは状態をコントロールすることです。お薬を欠かさず飲んで、規則正しい生活を送ることで、徐々に症状は緩和していきます。

八雲 でも治らないんですよ？

荒手 まあ、寛解という言い方はできるようになるかもしれませんが、完治というのはなかなか難しい病気です。

八雲 気の迷いが入りましたけど。大手で良かったとは思ってるんですよ。一応配慮して仕事させてくれてるんで。

荒手 お仕事は順調ですか？

八雲 ええ。「ムービー登竜門」って知ってますか先生？

荒手 はい。名前は。結構人気みたいで。

八雲 今度そのディレクターをすることになったんです。

荒手 素晴らしいじゃないですか。

八雲 俺なんか、とも思いましたが、せっかくのチャンス。ものにしたいな、と。だから躁状態になればなんか上手くいくんじゃないかって。

荒手 八雲さん。それはいけません。同じことの繰り返しになりますが、大事なのは状態をコントロールすることです。

八雲 そうですね。

荒手 ではいつも通りお菓出しておきますね。
八雲 はい。ありがとうございます。

荒手、去る。

【BGM・居酒屋】

【照明・ブルー】

荒手と入れ替わりで、保田が入ってくる。

○第二幕第二場

居酒屋。

【照明・居酒屋】

八雲 あー。なんか面白いことねえかなー。

保田 あるでしょ。

八雲 何？

保田 今！

八雲 何が？

保田 オシヤレじゃない？ この居酒屋。最近できたんだって。

八雲 酒なんてどこで飲んでも一緒だろ。

保田 男二人でもさ、気分変わるじゃん？ こういうちよつとしたことで。

八雲 そうかもしれないけどさ。俺の言ってる面白いとはなんか。

保田 じゃああれは？

八雲 あれ？

保田 あれ！ すごいじゃん！ 八雲、今度ムービー登竜門のディレクシヨ

ンするんですよ？

八雲 それか。

保田 それ以外なくない？

八雲 すごくねえよ。

保田 え？ だってクロシんとか米尾プロデューサーに会えるんですよ？

八雲 自分の会社の社長に会っても嬉しくないっての。

保田 じゃあ牝小路社長は？

八雲 あれもただの社長でしょ。女優とかモデルに会うのとは全然違う。

保田 不動産ベンチャーでしょ？ やっぱ不動産って儲かるのかな？

八雲 さあ？ まあでも、制作費のほとんどを牝小路が負担してるって話だし、やっぱ金はあるんじゃないの？

保田 でもいいよねー牝小路社長。結構名司会じゃない？

八雲 もうやめてくれない？ 牝小路の話。

保田 えーなんで？

八雲 なんでって。うぜーからだよ。

保田 そういやさ、ずっと思ってたんだけど。

八雲 ずっと思うな。すぐ言え。

保田 八雲って酒飲んでいいの？

八雲 ああ？

保田 だって、ずっと行ってるんでしょ？ 病院。

八雲 いいんだよ。

保田 アルコールとそういう薬って相性悪いって聞いたよ？

八雲 いいんだよ。そもそも治したいのかどうかもわかんねえんだよ。

保田 どういうこと？ 病気は治った方がいいでしょ？

八雲 普通はな。

保田 普通じゃないの？

八雲 ゴツホも同じだったよ。

保田 同じ？

八雲 双極性感情障害。まあつまり躁うつ病だけど。お前知ってる？

保田 ゴツホ？ ゴツホは知ってるよ。流石に。

八雲 3月30日ってゴツホの誕生日なんだけども、世界双極性障害デーなんだってよ！ くだらねえよな。

保田 何が？

八雲 だってそうじゃん？ つまりゴツホも同じだから安心しろって言いたいわけでしょ？ アル中でニコ中で、自分の耳切り落とすようなやつよ？ いや、ゴツホの絵はすげえんだらうけどさ、肯定していいもんなかなーってさ。

保田 確かにね。

八雲 だから俺はお前がすげえ偉いと思ってる。

保田 何急に？ 照れる。

八雲 世の中さ、尖ったやつとか有名なやつが偉いみたいな風潮が間違ってるのよ。お前みたいだね、そこそこの大学行って、そこそこの企業に就職して、平均年収くらいをもらって、子供と奥さんと仲良く暮らしてる。これが一番すげえじゃんかやっぱり。なのに世の中はさ、そういう奴をフィーチャーしねえんだよ。実際ムービー登竜門の志願者なんてクソばっかだよクソばっか！
面白い作品作る事しか脳のないクソ。

保田 それクソじゃなくない？ 面白い作品作れるんでしょ？

八雲 人間性がクズだったらダメだろ？

保田 でも面白いものを作れるのはすごいことじゃん？

八雲 俺から言わせりゃ、クロしんよりお前の方がすごいんだよ。

そこにすてらが現れる。

すてら あれ？ 八雲じゃん！ 超久しぶりだ！

八雲 ……すてら？

すてら 覚えてる？

八雲 覚えてるよ。小6まで同じクラスだった。

すてら そうそう。

保田 同級生？

八雲 そう。

すてら 初めまして。

保田 初めまして。俺は中学からの同級生で。保田って言います。

八雲 何してるの？ こんなところで。

すてら パパ活。

八雲 え？

すてら ウソウソ。その顔は「あーこいつならやってるかも。」の反応じゃない？

八雲 いや。

すてら 実はこの居酒屋。私がプロデュースしたんだー。

保田 えー！！！！！

八雲 そうだったんだ。通りでセンスが。

すてら センスが？ 何？

保田 え？ だって同級生ですよ？ すぐくないですか？ お店プロデュースなんて。

すてら そんなに褒めても、ちよつとしか割引しませんよ。

保田 えー！ ちよつとしてくれるんですか？

すてら もちろん！

保田 じゃあちよつとせつかくなんで一緒に飲みましようよ！

すてら えーいいんですか？

保田 もちろんもちろん！

すてら じゃあ失礼しまーす。

八雲 ……。

すてら 何？ 嫌なの？

八雲 お前が嫌じゃないのか？

すてら なんで？

八雲 知ってるだろ？ 俺のこと。

すてら 知ってるよ。

八雲 だよな。狭い街だ。知らない方がおかしい。

保田 でもさ！ 話しかけてくれたってことは。

八雲 そう。だからこの街じゃ、俺に話しかけるのなんて保田くらいなものだ。

だ。

保田 八雲。

すてら 私、普段東京で働いてるから。

八雲 それが？ 俺だってそうだ。

すてら 東京で言ってくる人いるの？

八雲 知らないだけだ。俺が本来なら刑務所に入るような人間だってことを。

すてら その情報1個のあるなしで八雲の性格は変わるの？

八雲 は？

すてら 八雲は好きな人が殺人犯だって知ったら別れる？

八雲 はあ？

すてら いいから。

八雲 ……。

すてら 保田さんはどう？

保田 聞きますかね。どうして殺しちゃったの？ って。

すてら 離婚しないの？

保田 すぐには。多分。しないです。だって、どういう人間なのか知ってるつもりだから。

すてら 八雲は？

八雲 下らねえ。

すてら なんでよ。

八雲 みんながみんな保田みたいじゃねえんだよ。

すてら でも私は保田さんと同じ考えだから、話しかけた。理由としては充分じゃない？

八雲 うるさい女。

すてら 仲よかったじゃん私たち！ 毎日一緒に帰ってたでしょ？

八雲 小学生の頃の話だ。

すてら 当たり前じゃーん！ 小学生の時以来会ってないんだから。

保田 さっき普段は東京って言ってましたよね。

すてら 言った。

保田 何やってるんですか？

すてら 絵え描いてんだ、私。

八雲 絵？

すてら そ。

すてら、スマホを出して、2人に見せる。

すてら 昔から夢だったからさー。

保田 うわー、うまいですねー。

八雲 お前、絵なんて習ってたの？

すてら いや。独学だよ？

八雲 売れんの？ それで。

すてら いやー、いい時代だよね。こうやって制作風景とかをさ、ユーチューブにあげてくと、これが意外と買ってくれる人がいるんだわ。

八雲 へえ。

すてら 例えば、これ。いくらだと思う？

八雲 え。3000円くらい？

保田 いや、1万円くらいはするんじゃないですか？

すてら 正解は30万円でした。

八雲 はあ？

保田 すごい。

すてら 高いと思った？ でも買ってくれる人がいるから、商売は成り立つんだよ？

八雲 すぎえな。

すてら とは言っても、安定してるわけじゃないからさ。調子いい時にお金貯めて、安定した収入が入るようにここをオープンしたってわけ。

八雲 なんでこの街に？

すてら なんだかんだ好きだからじゃない？ 原点だしね。

八雲 へえ。

すてら 八雲は今何してんの？

保田 八雲もすごいんですよ！

八雲 やめろって！

すてら なーんてね。聞こえちゃってたよ！ ムービー登竜門！

八雲 ……なんだよ。

すてら 私、出るんだよねー。

八雲 はあ？

すてら まだ内緒なんだけど。

八雲 ちよっと待った。え？ 映画でも作んの？

すてら まさかの審査員！

八雲 ……まじかよ。

すてら 米尾ってプロデューサーから連絡があってね。まあ、コラボ？ みたいなことかな。

保田 超すごいじゃないですか！

すてら ありがとう。

八雲 ……。

すてら 何？ 嬉しくないの？

八雲 お前、俺のこと知らないフリしろよ。

すてら やだ。

八雲 まあ、そういうだろうな。でも、これも何かの縁かもしれない。

すてら 運命ってやつ？
八雲 うるせえよ。

【八雲のスマホが鳴る】

立ち上がったって電話に出る八雲。
少しはける。
保田、すてら親密げに話をする。

八雲 はい！ はい。お疲れ様です。あ、はい！ はい！ そうですね！ は
い！ 大丈夫です！ 明日！ はい！ よろしくお願いします！ はい！
じゃあ、失礼します！（電話を切る）

間。
裏で。

八雲 あ！ 先生！
荒手 ああ、どうも。それじゃあ。
八雲 ああ、はい。

八雲、戻ってくる。

保田 仕事？
八雲 ああ。噂の米尾プロデューサーだよ。
すてら なんだって？
八雲 明日ミーティングするって。次の志願者が決まったらしい。

【照明…ブルー】

【BGM…幸福な朝食退屈な夕食】
すてら、八雲、保田、去る。

○第三幕第一場

【照明・白田家 夜】

白田、必死でコンテを描く。

それを覗き込む鳥栖と明沙。

明沙 よくそんなに必死になって世にでない企画考えらえるよねー。

白田 何言ってるんだ。企画の多くは世にでないだろ。

明沙 まあ、そうか。

鳥栖 いやあでもすごい気迫だねー。寝てないんじゃないの？

白田 最低限は、2時間くらいは睡眠とってるんで、大丈夫す。

鳥栖 頑張るねー。

白田 まずは俺の企画が番組に採用されなきゃ、復讐が始まらないから、って言うのもありますが。

鳥栖 がー？

白田 チャンスだと思いませんか？

鳥栖 何が？

白田 最終選考まで残れば、この企画はクロしんの目にも触れる。クロしんの目に触れた上で、俺の出演が決まればそれは、俺の企画が面白いとクロしんが認めたこととイコールだ。

鳥栖 まあねー。

白田 俺は、クリエイターとしてもあいつに真っ向勝負したいんです。

鳥栖 ふーん。

白田 なんです？

鳥栖 その企画は誰のための企画なの？

白田 ……決して世に出ることはない。採用されたって俺は別のことを喋るつもりなんだから。だからこの企画書は、クロしんに向けたラブレターですよ。

明沙 今更認められたらって思うんだ。クロしんに。

白田 ……。

鳥栖 そーそー。あんなゴミクリエイターの権化みたいなやつに認められて嬉しいかなー。

白田 俺は、嬉しいですよ。

鳥栖 そう？

白田 それこそ、今までの俺の努力は無駄じゃなかったんだって思えるくらいには、嬉しいです。

明沙 愛憎入り乱れてるねー。

白田 俺は鳥栖さんほどの男を嫌ってませんから。

鳥栖 ちよつとちよつと。それで当日、今作ってる企画をバカ正直にただ発表するなんてことはやめてよねー。

白田 わかってますよ。

鳥栖、明沙、去る。

ゆのが入ってくる。

○第三幕第二場

【照明…白】

ゆの ♪あー、だから今夜だけはー。君を抱いていたいー。あー。明日の今頃は、僕は汽車の中ー。(心の旅・チューリップ)

白田 ……。

ゆの ねえ。

白田 ん？

ゆの 吐いてた？

白田 ……。

ゆの 私心配だなー。毎日毎日。ま。そうは言っても私にできることなんて何にもないんだけどさー。

白田 吐いてない。えずいてただけ。

ゆの 同じじゃない？

白田 ……。

ゆの 善ちゃんはすぐ無理しちゃうから。今日もプレゼン？

白田 え？ ああ。うん。

ゆの 大丈夫！ 善ちゃんは面白いから！

白田 うん。そうだね。俺は面白い！ だから、ちよつと無理してくるよ。

ゆの そっか。気をつけてね。

白田　　いつてきます。
ゆの　　いつてらっしゃい。

【照明…ブルー】

【BGM…バトルビート】

スタジオの準備風景。

○第三幕第三場

【照明…スタジオ】

ムービー登竜門。スタジオ。

八雲　　それでは本番参りまーす！　本番！　5秒前！　4！　3！

（2、1を手で表し、Qを出す。）

牝小路　さあ！　本日は生放送でお送りします！　ムービー登竜門！　そして
本日は、スペシャルゲストとして、ユーチューバーで画家の竈門すてらさんに
も審査員として入って頂いています！

すてら　あ、どーも。竈門すてらです。画家やっています。

牝小路　どうですか？　初登竜門は？

すてら　あーアレですね。月並みですけど、新しい才能に出会えるのを、期待
しています。

牝小路　ありがとうございます。それでは志願者の方！　お入りください！
どうぞ！

白田、礼をして入ってくる。

白田　　失礼します。

牝小路　…どうぞ、お席にお掛けください。

白田　　はい。失礼します。

牝小路　ではまず今回の希望金額とムービーの企画内容を教えてください。

白田　　はい。希望金額が1億円。ムービーの企画内容は「映像業界の闇を暴く。
某制作会社を糾弾する社会派ムービー」です。

牝小路 えーっと。臼田さん？

臼田 はい。

牝小路 資料にあることと違うんですが。

米尾 どういうことですか？

臼田 ちよっと。はい。企画を練り直しまして。

米尾 (ちよっと八雲！)

八雲 (はい！)

米尾 (止める？)

牝小路 もう一度お伺いしますが、臼田さん。企画内容を変更とおっしゃいましたか？

臼田 はい。練り直しました。

牝小路 で。なんとおっしゃいましたか？

臼田 希望金額が1億円。ムービーの企画内容は「映像業界の闇を暴く。某映像制作会社を糾弾する社会派ムービー」です。

米尾 (八雲！！)

黒乃 ……いいじゃないですか。面白そうです。続けましょう！

米尾 黒乃さん？ いや、でも。八雲？

八雲 (続けまーす！)

牝小路 それでは参りましょう！ キャッチザドリーム！ 動画で夢を掴み取れ！

すてら えっと、まずは簡単に経歴をお願いします。

臼田 臼田善吉。31歳です。最終学歴は四年生の大学を卒業。新卒で大手映像制作会社に入社して、3年前。28歳の時に独立してフリーのディレクターになりました。本日はよろしくお願い致します。

米尾 今回のプランを教えてください。

臼田 はい。映像業界の闇を暴く、ということと、いくつか確たる事実を元に、1人の男が某映像制作会社に復讐を成し遂げる、というストーリーになります。

米尾 業界のイメージが悪くなりそうですが、その点はいかがですか？

臼田 はい。元々近年、業界に対してのイメージの低下というのはあったと思

います。パワハラ問題・セクハラ問題。ブラック労働問題。事務所のトップによる性加害。そういった状況の中で、私はこの作品を通じて業界の膿を出し切る必要があると考えました。

すてら それって困る人たくさんいますよね？

臼田 というと？

すてら その業界で働いてる人みんなが悪いんですか？ そうじゃないと思うんですけど。でもあなたのやり方ではその業界の人みんなが傷つくことになるのではないですか？

臼田 私はそうは考えません。例えば、某銀行マンの成り上がりを描く企業ドラマは銀行のイメージを失墜させたでしょうか？ 実際は銀行マンを志望する学生が増えています。それもドラマの主人公のようになりたい、という正義感の強い志望者です。その状況は悪いことではないと思いますが？

米尾 そうかもしれません、実際ドラマと現実の違いはあります。ドラマというのは脚色がなされているものです。その脚色は悪影響では？ 例えば、ある政治派閥を糾弾するような映画があつたりしますが、それはその政治派閥にとつて、利益をもたらしているのでしょうか？ どう思いますか？

臼田 脚本構造の違いだと思います。

牝小路 脚本構造の違い？ もう少し詳しく伺ってもいいでしょうか？

臼田 銀行マンのドラマは内部から銀行を変えようとし、政治糾弾の映画は外側から、例えば新聞記者という立場から政治を敵としました。内部から変えていく脚本構造であれば、業界に希望を与えられると思います。だって、我々は、敵であり、味方なのですから。ただ敵を駆逐するのは訳が違います。

米尾 先ほど、「いくつか確たる事実を元に」という風におっしゃいましたが、それは具体的にどのようなことでしょうか？

臼田 ここに資料があります。みなさまのお手元にある資料とは違うと思いますので、後ほどお渡ししますが、ここにその事実が書かれています。

牝小路 もったいぶりますね。その事実はなんですか？ と米尾さんは聞いています。

臼田 それは。

すてら ああ！

牝小路 はい。

すてら 単純に、ですけど、この企画を、番組サイドが応援して、お金を出すメ

リットつてあるんですか？

臼田　あります。それは業界活性化のためです。そのためにはクロしんさん。あなたに悪役になつてもらう必要があるんです。

黒乃　……。

米尾　悪役に？

臼田　例えば、クロしんさんをヒーローとして映像業界つて素晴らしいですよーなんてプロパガンダ作品を作っても誰が見てくれるんですか？　今の業界の恩恵を受けている人たちが絶賛するだけです。クリエイティブの歴史は破壊の歴史。前を破壊してこそ次世代に繋がるのでは？

すてら　理屈はわかるんですけど。それって、だから、あなたが。いや、あなたじゃなくてもいいのかもしれないですけど、次世代の人たちが集まって勝手にやったらいいんじゃないですか？

牝小路　竈門さんの言ってることわかりますか？　臼田さん。

臼田　はい。

牝小路　あなたの言い分ですと私たちは旧世代ということになりますよね？　あなたのやりたいことは、旧世代の力を借りずに勝手にやったらいいじゃないませんか？

臼田　それじゃあダメなんですよ！　旧世代と違って今の世代は1つにまとまることを嫌う世代です。多様性の時代ですから。各々に正義がある時代なんです。だから大きくなれない。統率力がない。その部分は旧世代の力を借りる必要があるんです。高度経済成長期を生き抜いてきた世代の力が。

米尾　だいぶ世代論に話が偏りましたけど、結局臼田さんは何がしたいんですか？　急に企画を変えて、我々を挑発するようなことを言っつて、お金をもらう側の立場にはあまり思えませんが。

牝小路　そうですね。生放送だからあまり言いづらいですが、冷やかしながら帰つてほしいんですよ！　ここには本気で映像作りたい人間が、集まってほしいんです！　それを、なんですか？　売名ですか？

臼田　いえ、違います。

牝小路　じゃあ何がしたいんですか？

臼田　私は……。

黒乃　これ、面白かったですけどね。

臼田　え？

米尾　　そうですね！　元々あなたのこの企画書は、うちの社員たちがみんなベタ褒めしてたんです。だからこのライブ配信回で、スペシャルゲストが竈門さんの、今日この日にあなたはキャスティングされた。ご自身で勿体無いと思わないんですか？

牝小路　私もこの企画は感動しましたよ。一人の大切な人の支えがこんなにも人を優しく包み込むんだと。コンテを読んで涙が出そうになりました。

臼田　　私は御涙頂戴をやりたい訳じゃないんですよ。その方が企画が通りやすいからそういう企画にしたいだけです。

米尾　　ここに書いてあることは事実ではないのですか？

臼田　　……。

米尾　　1年前に最愛の恋人を失ったと。

臼田　　……。

米尾　　私たちに受けがいいように、そう書いたということですか？

臼田　　……。

米尾　　そういう人間が書いた作品には、見えなかったですけどね。

牝小路　こっちの企画書がまるつきり嘘だとして。臼田さんは、じゃあ今お話になられている社会派？　の作品が本当にやりたいことだと？

臼田　　……これは、やりたいことではなく、やらなければならないことです。

牝小路　やらなければならぬこと？

米尾　　どういう意味ですか？

臼田　　この資料を、順に説明しましょう。

米尾　　（八雲！）

八雲　　（……。）

米尾　　（八雲！）

八雲　　（はい！）

米尾　　（いつでも止められるようにね！）

八雲　　（……はい！）

臼田　　まず一つ！　これはこのムービー登竜門に大きく関わる事実です！

牝小路　この番組に？

臼田　　……それは。

牝小路　それは？

白田、黒乃を見つめる。

白田 黒乃さん、あなたは私の憧れでした。この人みたいになりたいって。そう思って、この世界で自分なりに頑張ってきました。

白田、黒乃に近づく。

牝小路 ちょっと！

白田 別に殴ったりしませんし、どこかの映画みたいに憧れだった人間をテレビショーで銃殺したりしませんよ。

白田、黒乃に資料を渡す。

受け取って眺める黒乃。

白田 これをどう思いますか？

黒乃、資料を読む。

牝小路 それには、先ほど白田さんがおっしゃっていた、事実が書かれていると
いうことですか？

白田 はい。

米尾 黒乃さん？ 私にも！

米尾を無視する黒乃。

白田 どう思いますか？

黒乃 ……あなた、だあれ？

白田 え？

【人々の声】

【照明…スポット】

全員　お前は誰だ？ シマウマか？ お前は誰だ？ ライオンか？ お前は誰だ？ シマウマか？ お前は誰だ？ ライオンか？ お前は誰だ？ シマウマか？ お前は誰だ？ ライオンか？ お前は誰だ？ シマウマか？ お前は誰だ？ ライオンか？

白田、頭をかかえる。

牝小路　大丈夫ですか？

白田　……すいませんでした。

牝小路　はい？

白田　私のやったことは、ただの冷やかしでした。

牝小路　え？ 何？ どうしたんです急に？

白田　すいませんでした。

米尾　志願を取り下げるといふことですか？

白田　はい。

安室　ちよつと待ってください！

安室が入ってくる。

米尾が八雲の元にきて無線を奪おうとする。

安室　なんでそこでやめちゃうんですか！

八雲　ズーム！ ズーム！ そこ寄って！

米尾　（ほぼ同時に）八雲！ 何してるの！

安室　そこまでやったら最後までやりましょうよ！

八雲　（ほぼ同時に）止めません！

安室　何急に怖気付いてるんですか！

米尾　（ほぼ同時に）は？

八雲　（ほぼ同時に）カメラ！ 止めませんので！

安室　私に偉そうに説教した時の白田さんはどこにいったんですか？

米尾　（ほぼ同時に）何言ってるの？

八雲　（ほぼ同時に）久々になんか！ キてるんで！

米尾　キてるって何よ！

八雲　ここで止めたなら、面白くねえだろ！　邪魔しないでもらえますか？
米尾　自分の立場分かってんの？

逃げるように去る黒乃。

牝小路　おいキミ！　やめなさい！

安室　この人はね！　私にヌードを強要したんですよ！　このクロしんって

監督はね！

米尾　八雲！　八雲何するの！　止めなさい！

八雲　止めんな止めんな！

安室　私はクロしんに無理やりヌードをやらされたんです！　抗議文ももみ

消されました！

米尾　八雲！

八雲　回せ回せ！

米尾　今すぐ全部止めなさい！　止めろって言ってんだろ！

ざわつく場内。

静止するスタジオの面々。

【照明…スポット】

【BGM…心の旅】

ゆの　おかえりー！。

白田　ああ。

ゆの　どうしたの？　暗いけど。やなことあった？

白田　……いや。逆かな。

ゆの　逆？

白田　クロしんにさ、企画を褒められたんだ。

ゆの　えーすごいじゃん！

白田　今更だよな。

ゆの　そんなことないよ。

白田　俺、誰に褒められるより嬉しかった。

ゆの　よかったじゃん！

白田　でもさ、クロしん、俺のことなんて覚えてなかったよ。
ゆの　え？

白田　クリエイターで入社したのにさ、急な人事で営業回されて、頭きて、クロしんに、社長室にさ、直談判までしに行ったんだぜ？　そんなことする社員。いないだろ？　少なくとも、俺は、あいつにしっかり喧嘩を売ったつもりになってた。でも、本当にもりだったみたいだ。

ゆの　でも褒められたんでしょ？

白田　ああ。

ゆの　やっぱり善ちゃんはすごいね。

間。

白田　なあ、ゆの。

ゆの　……。

白田　なんで、死んじゃったんだよ。

【BGM…ガガガSP　線香花火】

【照明…プロジェクター】

曲の中、暗がりをつらつらと歩く白田。

【照明…病院　抽象】
病院。

荒手　本日はどういった症状で？

白田　……自分じゃ認めたくないんですが。

荒手　そう思う方ほど重症になってしまったりするものです。あまり気をわずに。

白田　誤解を恐れずに言えば、心の病なんて、弱いやつがなるもんだと思ってたので。

荒手　白田さんは何かスポーツをやられていましたか？

白田　え？　ああ、学生時代にサッカーを。

荒手　もし足を骨折したら、試合には出られませんよね。

白田　そりゃ、はい。出たくても出られません。

荒手 心の病気も同じなんです。少し見えにくいだけだね。

臼田 ……幻覚が見えるんです。

荒手 幻覚？

臼田 1年前、死んだ恋人の。

○第四幕第一場

【照明…前面】

米尾、前面に出てくる。

釈明動画。

米尾 本日はこういった形で急遽、動画をお送りしております。まずは弊社の事情で、世間様を大変お騒がせしており、申し訳ございません。これから不法侵入等で警察の調査なども入るかとは、思いますが、ただ一点、先んじて皆様に申し上げておくべきだと思います。この動画を収録しています。先日の生放送で、過去の弊社制作映画に出演されていた女優の方が乱入し、仰っていた発言ですが、こちらに関しては事実無根となります。あらぬ疑いをかけられておりますので、弁護士とも相談し、必要な法的措置は検討していきたくと考えています。なお本件が決着するまでの間、当面「ムービー登竜門」の配信は休止させていただきます。

○第四幕第二場

【照明…会議室】

会議室。

米尾 どうして呼び出されたか、わかってる？

八雲 はい。

米尾 あなたのせいでうちがどれだけの損失を

八雲 (被せて) 病気です！

米尾 は？

八雲 病気なんですよ。俺。

米尾 そんなの通用すると思ってるの！

八雲 診断書もあります。

米尾 だから仕方ないって言いたいの？

八雲 まあ。いや、でもちゃんと辞める覚悟はできてます。

米尾 それでいいの？

八雲 え？

米尾 病気を言い訳にするのは簡単だけど。それであなたはいいの？

八雲 言ってる意味がよく。

米尾 病気だから仕方ない？ 病気だけ何ができるかじゃないの？ あな

た昔サッカーやってたって言ったよね？ 骨折したら応援には行かないの？

ベンチに座って仲間を応援したり、戦略面では力になろうとしたりしない

の？ 病気自体を責める気はないけど、姿勢としてそれでいいわけ？

八雲 ……。もう辞めるんで、失礼していいですか？

米尾 八雲！

そこへ牝小路が入ってくる。

牝小路 失礼。

米尾 牝小路さん。

牝小路 君はとことん私の顔に泥を塗るのが好きなようだな。

八雲 辞めますんで。

牝小路 私がいなければ君は今頃。

八雲 どうして訴えてくれなかったんですか？ どうして俺を刑務所に入れ

てくれなかったんですか？ なんで仕事まで斡旋して。

牝小路 ニュースになったら、株価に影響が出る。幸い君は再犯するような人間には見えなかった。これは私からの私的な執行猶予だ。私の管理下で、しっか

りと生きてもらう。

八雲 株価？

米尾 あの、牝小路さん？

牝小路 いや、気にしないでくれ。とにかく、君に辞めるという選択肢はない。以上だ。

牝小路、去る。

米尾 あんた何したの？

八雲 ……あーあ。

米尾 何？

八雲 ねえ米尾さん。

米尾 何？

八雲 人間て飼えんのかな？

米尾 は？

八雲 こうさ、昆虫とか金魚とかみたいにな？ 飼えんのかな？ 飼えたとし

たら、飼われた人間はどうなんのかな？

米尾 何言ってるの？

八雲 ああ、あれか、警察犬とか、猿回しの猿みたいに、飼い主にいいように
躡られて言われた通りに動く変な生命体ができるだけか。

米尾 私にわかるように言ってもらえない？

八雲 いや、失礼します。

八雲去る。

米尾のスマホが鳴る。

【BGM…着信音】

○第四幕第三場

【照明…前画】

米尾が前に出る。

米尾 はい。米尾です。……あ、はい大丈夫です。……え？ 旧友？ 黒乃さ
んのですか？ ……あ、はい。わかりました。……え？ そうなんですか？
……はい。はい。コンタクトをとってみます。

米尾、去る。

○第四幕第四場

【照明…地明かり 白田家】

白田宅。

鳥栖、パソコンをいじる。

鳥栖 テレビではまだまだただけど、ネットでは結構話題になってるね。

明沙 釈明動画もあがってたね。

鳥栖 もうひと押し行きかけたところだけど。

安室 まあ、結局、止められちゃいましたね！

明沙 大丈夫だったの？ あんなことして。

安室 大丈夫じゃなかったです。事務所クビになっちゃいました。

明沙 よかったの？

安室 っ！。わからないです。わからないですし、今私も叩かれまくってます

けど。でも、変にスッキリしてるというか。

明沙 無理してない？

安室 それもわかりません。でも、これでよかったのかなとは思ってます。

明沙 そう。

鳥栖 白田ちゃんには、もうちょっと頑張って欲しかったんだけどな。

そこに白田が入ってくる。

安室 あ！ おかえり。

白田 おかえりじゃないよ。何これ？

鳥栖 何って！。作戦が終わったら反省会でしょう？

明沙 そうそう。次の作戦も打たなきゃいけないしさ。

白田 次の作戦？

鳥栖 今回の傷が浅かったからね。もう一発ドカンと何か。

白田 ……あのさ！ 悪いんだけど！ 俺、それ降りますわ！

間。

明沙　　なんで？

白田　　さつき病院行ってきた。

明沙　　病院？

安室　　どこか悪いんですか？

白田　　幻覚がさー見えてんだよ俺。

安室　　幻覚？

白田　　そう。元恋人の。

安室　　え？

白田　　これが結構うるさいくらい話しかけてくるわけよ。でも普通の人は幻覚なんて見ないでしょ？　だから、自分の中でなかったことにしてたんだけどさ。ちよつと、そんな自分を見つめ直そう？　みたいなの？

明沙　　あんた。自覚あったの？

白田　　そっかそっか、やっぱりお前は知ってるよな。

明沙　　え？

白田　　俺は、クロしんに復讐をしようとしてたわけだけど。俺がクロしんにされたことってなんだろうなーって考えてたんだよ。

鳥栖　　それは業界から干されて。

白田　　それは俺の被害妄想なんじゃないかって思うんですよ。あんたたちに膨らまされた。

間。

安室　　どういうことですか？

白田　　事実だけを見てみることにしたんです。感情抜きにしてね。俺干されてたかなーって。紅新社が覚えてないやつ干すかなーって。だからアレですわ。「紅新社と喧嘩別れして辞めた」っていうその事実だけが、レッテル貼りになつて、周りが俺と仕事しづらかったただけじゃないかって思ったんですよ。

安室　　確かに、そういうことあるって聞いたことがあります。

鳥栖　　でも実際、クレしん系列の仕事してなかったじゃない？

白田　　紅新社と喧嘩別れしたやつに案件振らないでしょう？

鳥栖　　あ、そう。

白田　　そう考えてみると、結局クロしんへの復讐を持ちかけてきたのは、明

沙。お前だ。これも事実だけ考えるとおかしい。お前はクレしん資本でクレしんの恩恵を受けて生活してるだろ？ クレしんに復讐する理由なんてないじゃないか。

明沙 話したけど覚えてないだけじゃない？

白田 ついでだから聞いて来たんだ。

明沙 何を？

白田 昔は記憶飛ばすことなんてなかったのに。って。

明沙 そしたら？

白田 それも病気が影響してるかもしれないんですけど。

明沙 で？

白田 お前ら言ったよな？ 世の中、そうそうタイムマンや真っ向勝負のできるやつはいないって。お前ら調子いいこと言って俺を担いで、自分たちの復讐のために俺を利用しただけじゃないのか？ 本当にクレしんに干されたのはあなたじゃないんですか？ 鳥栖さん。

間。

鳥栖 ……だとしたら？

白田 これも感情抜きに事実で調べました。

鳥栖 調べた？

白田 俺、フリーになる前、一瞬だけ営業に移動になったじゃないですか。

鳥栖 そうねえ。

白田 そうすると、会社の資料にアクセスできる範囲が増えるんですよ。

鳥栖 そうなんだ。

白田 本当はダメですよ？ ダメですけど、会社の過去の作品集とか資料とか、俺こそつと抜いて退職したんです。あくまで自分用として。だから俺、明沙の過去の作品集とかも全部持ってるもん。

明沙 私ですら持ってないの？

安室 私、見せてもらいました。すごい量のデータが入ってます。

白田 そう。んでその過去の作品集の中にあなたの名前、ありましたよ。鳥栖さん。

鳥栖 あゝ。偽名でも使っておけばよかったねえ。

臼田　で、あんたの映画とか、見ましたよ。

鳥栖　へー。そりやありがとう。どうだった？

臼田　面白かったです。あなた天才ですよ。

鳥栖　ほー、そりやよかった！　これでつまらなかつたなんて言われたら、有能な無職の名が廃るからねー。

臼田　でも天才には悪い噂もあった。

安室　悪い噂？

臼田　黒澤明の「蜘蛛巣城」のラストシーン。豪雨のように降り注ぐ矢から逃げる三船敏郎。その三船敏郎の表情は、演技じゃなくて、本当の恐怖の顔だつて。なぜなら本物の矢が使われていたからつて。そんな話があるけれど、あなたはそれを地でいくタイプだった。ケンカのシーンでは実際にケンカをさせ、暴行シーンでは実際に暴行をさせる。現場はピリつき。パワハラもセクハラも横行。だからあなたは干された。違いますか？

鳥栖　臼田ちゃん。正解。正解だよ。無職の正体暴いちやつたねえ。

臼田　（明沙を見て）あーあ。そっか。

明沙　別に善吉を裏切ったとかは思つてないから。

臼田　まあ、そうだろうね。

明沙　普通に。友達として。あとはかつての仲間として。協力してもらつただけ。

臼田　いいよ別に。怒つてるわけじゃない。昔からお前はそういうやつだ。鳥栖さんにも怒つてるわけじゃない。

鳥栖　その心は？

臼田　俺はあなたの作品は面白いと思うけど、あなたの考えには賛同できません。それだけです。

鳥栖　でも、面白いと思つたんだよねー？　ぞくつとしたでしょう？　本来あるべき姿つてそういうものじゃなくいい？　欲しいのは作り物じゃない。ハリボテのクリエイティブが横行する時代の中で、俺は本物のクリエイティブを作つただけだよ。……なのにあいつはそのやり方を否定したんだ。

臼田　じゃあ自分で復讐すりゃいいじゃないですか？

鳥栖　俺たちは裏方だから表舞台に立つことはない。だから今回もあくまで俺は裏方で演出してただけさ。

臼田　それで探偵みたいな真似をしてたんですか？

鳥栖 今でも俺みたいな派閥は一定数いてね。でもみんなその素顔を隠して生活してる。そう、ちゃんと生活できてるんだ。社内にも一定数そういう派閥はあってね。だからいまだに社内の情報が手に入る。明沙もそのうちのひとり。明沙は元々鳥栖組だからね。

白田 人生で初めて出演者になりましたよ。

鳥栖 どうだった？

白田 他人のアイデアの上にいるのは、気分があんまりよくないですね。

鳥栖 役者向きじゃないねえ。

白田 知ってます。

鳥栖 白田ちゃんの考えはわかった。もう俺たちに協力してくれることはなさそうだね。安室ちゃんはどうかな？

安室 ……何言ってるんですか？

鳥栖 ん？

安室 協力するわけじゃないですか。私から見たらあなたはクロしん以上ひどいクリエイターです。

鳥栖 そっかそっか。まあしょうがない。また別の神輿を見つけに行きますか。

白田 待つてくださいよ。話はまだ終わってないです。

鳥栖 何？

白田 この間の騒動にあなたが嘔んでいたことを発表します。

鳥栖 は？ 逆恨みはやめてよ。

白田 それで痛み分けて終わりますよ？

明沙 そんなことしても善吉にメリットないでしょ？

白田 気持ちの問題です。

鳥栖 どうしてもやめて欲しいと言ったら？ お金積めばいいの？

白田 もう一つ。探偵業をお願いしてもいいですか？

鳥栖 は？

白田 俺の復讐は、こんな大それた正義感に満ち溢れたもんじゃない。もつと汚い、ただやり場のない怒りを鎮めるための、格好悪い弱者のやる行為だって気づいたんですよ。

鳥栖 なるほど。話に乗ろうか。

明沙 待って！

白田 なんだよ？
明沙 それって、あの時の犯人を？
白田 ああ。
明沙 やめなつて。
白田 なぜ？
安室 あの。
明沙 何？
安室 もしかして、ゆのさんって誰かに殺されちゃったんですか？
白田 ……。
明沙 そうじゃない。
白田 ……。
明沙 ゆのちゃんは生きてる。

【照明…暗転】

【BGM : Mindfulness】

○第四幕第五場

居酒屋。

【照明…居酒屋】

保田 相談？
八雲 ああ。俺の家のポストにさ。
保田 ごめん。俺それどころじゃなくてさ。
八雲 は？
保田 ごめん。しばらく八雲とも会えそうにない。
八雲 はあ？
保田 今日はその挨拶だけって思ってたんだ。
八雲 なんだよ！ なんだそれ？
保田 ごめん。

保田、席を立つ。

八雲 犯罪者に話すことはねえってか。

保田 ……違うよ。

八雲 じゃあなんだよ！ 言えよ！

保田、席に戻る。

保田 言う。

八雲 ああ。

保田 八雲は引かないもんね。

八雲 俺よりやばいことしてなきやな。

保田 (笑って) 俺離婚することになった。

八雲 はあ？ なんで？

保田 俺の不倫。

八雲 は？ だってお前相手なんて。

保田 すてらさん。

八雲 はあ？

保田 違うんだ。なんか、こう、有名人と思いき出作りみたいな。向こうが本気

じゃないのもわかってたんだ！ なんか、ちよつと、一瞬でいいから味わいた

かったんだよ。そういう感覚を。

八雲 で、その一回キリがバレたのか？

保田 うん。

八雲 なれねえことするからそうなんだよ。

保田 本当にそう思う。

八雲 ……俺、死ぬわ。

保田 ええ？ なんだよ急に？

八雲 俺のせいだろ、俺となんて付き合っちなきゃ、お前がすてらに出会うこ

ともなかった。

保田 やめろって。それは俺のせいだよ。

そこに鳥栖が現れる。

鳥栖 飲んでるね〜きみたち〜。俺もいっぱい飲ませてよ〜。

八雲 ……絡んでくんな、おっさん。

鳥栖 えゝ寂しいこと言わないでさゝ一杯！一杯だけだからさゝ。

保田 すいません。ちよつと。

鳥栖 お願いだよゝ。

八雲 あっちいけ。

鳥栖 なんかく。最近、この辺りで連続強姦事件が起きてるって知ってるゝ？
夜道で女性が一人で歩くのは辞めた方がいって。

八雲 はあ？

鳥栖 なんかく警察が外であなたたちのこと待ってましたよゝ。じゃあ。

鳥栖、去る。

保田 なんだよ今の。

八雲 警察が？ 外で？

保田 どうで嘘でしょ？

八雲、スマホを出して検索する。

保田の顔を見る。

保田 え？ 本当に？

八雲 ……。

保田 ねえ、さっきの相談って。

八雲 悪い。また連絡する。

保田 ちよつと！

八雲、去る。打ちひしがれる保田。

○第五幕第一場

【照明…時間経過】

【BGM : Between Hands】

【照明…居酒屋】

荒手がやってくる。

保田が荒手の口を抑え、居酒屋の個室に引きずりこむ。

荒手 (手を引き剥がし)やめてください！

保田 この辺で最近、連続強姦魔が出るって知ってますよね。

荒手 は？

保田 これを聞いてください。

保田、スマホを取り出し、再生ボタンを押す。

【レコーダー】

荒手 ねえ日暮くん。

日暮 はい。

荒手 また一人やってもらっていい？

日暮 またっすか？

荒手 30万でどう？

日暮 でももうこのあたりはやばいっすよ。俺連続強姦魔になってますよ？

荒手 じゃあ場所変えて、逃亡資金分も稼がないとね。

日暮 昔とは時代が変わったんですよ。泣き寝入りする女も減ったんす。

荒手 じゃあ50万円。

日暮 わかりましたよ。これが最後っすよ。

荒手 はいはい。

保田、スマホをしまう。

保田 あなたが指示してたんですね。

荒手 盗聴してたんですね。

保田 あなたのせいで八雲は！

荒手 どうして盗聴を？

保田 どうして？ たまたま八雲が聞いちやっただんですよ。

荒手 ああ、思い出しました。あなた八雲さんの友人の。

保田 どうしてこんなことを？

荒手 私もこないだのあなたたちの会話、聞こえちゃってましたよ。

保田 え？

荒手 あなた、不倫したんでしょ？ 今更火遊びして、火傷して。ねえ。私も同じ。八雲さんとか、色々、話を聞いてるうちに、少し火遊びしたくなっちゃっただけ。

保田 それが理由？

荒手 あなたと私は一緒なんですよ。

保田 一緒？

荒手 安全圏からスリルを求めています。

保田 は？

荒手 不倫のスリルが忘れられないんでしょう？

保田 そんなわけ……ないじゃないですか。

荒手 私、思うんです。他人のために正義感を振りかざす人間ほど危うい存在はないなーって。

保田 俺はただ八雲のために。

荒手 ため？ 「ため」って便利な言葉ですよね？ 自分の悪意を隠したい人間ほど、何かのためって言葉を使うんですよねー。探偵ごっこは楽しかったですか？ 犯人を追い詰めてドキドキしていますか？ 刺激のない人生で、今のあなたは輝いていますか？

保田 俺はあなたとは違います。一緒にしないでもらえますか？

荒手 どうせ警察にも連絡してるんでしょう？ そうやって線引きした上で、安全圏から私に会いに来たんでしょう？ 警察に任せればいいのに？ どうして会いに来たんですか？

保田 ……八雲の先生を、信じたかったからです。

荒手 どうしてもわかりたくないのね。あなたの苦しみと私の苦しみは一緒なのに。

保田 一緒だったら、もう少し八雲のことを真剣に考えてあげて欲しかった。

荒手 真剣に考えていましたよ。あなた以上に。

○第五幕第二場

【BGM…パトカー】

【照明・夜】

道。

八雲の前にすてらが現れる。

八雲 ……よお。

すてら お勤めご苦労様。

八雲 捕まってねえよ。聴取を受けただけ。

すてら あ、そうなの。よかったね！ 連続強姦魔じゃなくて。

八雲 よくない！ 俺の過去は変わらない！ 今回じゃ、なかったただだ。

すてら そ。

八雲 なんで保田を弄んだ？

すてら そのお怒りはお門違いじゃないかな？

八雲 なんで！ お前！

すてら なんで？ ねー。なんでだろうね。

八雲 そんな軽い気持ちで。

すてら 私、彼氏いるしね。

八雲 彼氏？

すてら あのお店だって。1人じゃ出せない。彼氏がいたから出せた。

八雲 それって、お前。

すてら 誤解しないでよ。「ちゃんと」好きだからさ。彼氏のこととは。

八雲 じゃあなんで。

すてら こーゆーのって、なんでって説明できる？

八雲 は？

すてら それっぽいことは言えるかもしれないけどさ。それっぽいことしか言えないよ？

八雲 ……なんで。なんで。なんで？ 俺はなんで？

急に震え出す八雲。体をガタガタ言わせて縮こまる。

すてら なになに？ 怖い怖い！ 大丈夫？ 救急車？

八雲 大丈夫！ 大丈夫！ ただの、発作だから、

すてら 発作？

八雲 そう。じっとしてりや、おさまる。

すてら ……。

八雲 俺は、やってない。

すてら うん。

八雲 でも、いつかまたやるかもしれない。

すてら ん？

八雲 スタジオで俺をみただろ？ ああなるともう自分でもわからないんだ。

すてら なるほど。

八雲 ずっと、ラクな死に方を探してた。

すてら ラクな？

八雲 俺は死んだほうが良いと思ってる。この社会にいて意味のない。邪魔な人間だって。お前みたいな才能もないし、保田みたいに普通に生きる力もない。そのくせ人の幸せを奪った。生きてる価値のないゴミ。でも！ 怖い。死ぬのは怖いんだよ。だから生きてる。ただ生きてるんだ。死ぬのが怖いから！ 俺は本当にクズだ。

すてら ねえ。ちよっと聞きたいんだけど。

八雲 ああ？

すてら 1年前に八雲が傷つけてしまった女の子ってなんて名前？

八雲 は？

すてら その子に会いに行ってきた、せめて直接謝罪してみたら？

八雲 お前、頭おかしんじゃないかねえのか！ 謝って許してもらえない訳ないだ

ろ？ 許すどころか顔も見たくないはずだ！ きっと今も街中で俺の顔がチ

ラつかねえかって、恐怖に怯えて暮らしてる！ 俺は、そういうことをしたん

だ！ 直接謝るなんて、自己満足に過ぎない。

すてら でもこのままじゃ八雲、死ぬんでしょ？

八雲 はあ？

すてら 私はさ、人間の価値って平等だと思ってるの。生きてれば一緒。平等。

どっちも生きる道があるなら試してみてもよくない？

八雲 俺に会ったことで、あの子が、死んじゃったらどうするんだよ！

すてら そしたらあなたはその子の分も生きなきゃいけないね。自分の代わり

にその子が死ぬんだから。よかったじゃん。生きる理由ができて。

八雲 どう考えても俺が死んだ方がいいだろ！

すてら 私はそうは思わない。だって私はその子を知らないから。でも八雲のことは知ってる。死んで悲しいのはその子よりも八雲。

八雲 それはエゴだ。

すてら 人間なんてみんなエゴで生きてるでしょ？ だからエゴでいいんだよ。会いに行つて、自分なりに落とし前つけろよ。(笑つて) その結果、八雲が死んだ方がいいって結論になる可能性はあるけど。

八雲 何笑つてんだよ！

すてら でもその方が、死ぬ勇氣出るでしょ？ 社会のゴミさん？

八雲 ……ひ、平崎ゆの。……両親が離婚してるから苗字は違うけど、ムービ

ー登竜門の牝小路邦経の、娘さんだ。

すてら なるほどねー。行こうか今から。

八雲 今から？

すてら 善は急げって言うでしょ？

八雲 いや、でも！ 俺今日の夜。

すてら 何？ 仕事。

八雲 いや。

すてら 用事なんてキャンセル！

八雲 用事じゃなくて……これ。

八雲、ポケットから、くしゃくしゃの紙を出す。

すてら 「あと1週間であの日からちょうど1年だ。今度の日曜、深夜1時。あ

の公園で待つ。」……何これ？

八雲 ポストに入ってた。ちょうど1年なんだよ。

すてら 親族？

八雲 違うと思う。

すてら じゃあ？

八雲 だから、今日は俺。

すてら 間に合う。だから行こう。止めても八雲は公園に行くんでしょ？ 殺されるかもしれないけど。なら死ぬ前に、会った方がいいよ、きっと。

八雲 ……そうなのか。

すてら、八雲、去る。

【BGM…ジムノペディ 第1番】

○第五幕第三場

【照明…前面】

レストランへの道(ビル最上階)。

牝小路 どうだ？ 仕事は？

ゆの うん。特に。

牝小路 順調か？

ゆの 順調？ かはわかんないけど。

牝小路 そうか。

ゆの でもすごいよね。

牝小路 何が？

ゆの お父さん。

牝小路 なんで。

ゆの だって、社長つてめちゃくちゃ忙しいんですよ？ なのに毎晩、ご飯連れてってかれて。

牝小路 ああ、社長だからな。働かないという選択もできるんだよ。

ゆの へえ。

牝小路 今までは仕事にかまけてお前のことを見てこなかったからな。だから、なるべくお前との時間を大切にしたいんだ。

ゆの ありがとう。

そこへすてらが入ってくる。

すてら どうも牝小路さん。

牝小路 竈門さん、どうしてここに？

すてら 急ぎの用があるって部下の人に連絡させてもらいました。すいません。

牝小路 いや、構わないですけど、一体なんの理由で。

すてら ほら！ 早く！

八雲が入ってくる。

牝小路 どう言うつもりだ！

八雲 すいません。

牝小路 娘の前に姿を現すなど言っただはずだ！

八雲 すいません。

牝小路 おい！ おい！ おい！ よくもお前のこのこと！ なんだ？ この間の腹いせか？ おい！ おい！

八雲 すいません。謝りに来ました。

牝小路 目を改めろ！ なんで今なんだ！

八雲 牝小路さんにじゃありません。

牝小路 あ？

八雲、ゆのの前に行って土下座する。

八雲 あの方は、本当に、申し訳ございませんでした！

間。

ゆの ……すいません。どなたですか？ あの時って……。

牝小路 いや、いいんだ。気にするな。大したことじゃない。八雲！ もうわかっただろ？ 帰れ！

八雲 あ……。はい。

八雲、すてら、去る。

ゆの お父さん？

牝小路 帰ろうか。

ゆの え？

牝小路 今日は、家で食事にしよう。

【照明…ブルー】

ゆの、牝小路、去る。

【BGM…心の旅 オルゴール】

○第五幕第四場

【照明…地明かり 白田家】

白田宅。

安室 記憶喪失ってことですか？

明沙 そう。事件のショックだね。

白田 ……最低だろ？ 本人は生きてるのに、その幻影を見るなんて。

安室 それは。

白田 (徐々に涙を流しながら) 毎週、お見舞いに行ってたんだ。最初のうちは、でもさー。毎回初めましてみたいな顔すんだよねー。「あなた、だあれ？」ってさ。だんだんだんだん辛くなってさー。あーいないんだーって。俺の好きだったゆのはもう。今いるのは見た目はゆのっぽい誰かでしかなくてさー。もうあの歌も歌わないし、無理すんとか言ってくれないし、父親のことだってさー、昔は嫌ってたんだよ。でも今はさ、父親に飼われてる犬みたいで……。あいつはさ、自由が欲しくて、父親からの自由が欲しくてうちに来たんだよ。なのに、今のあいつはちっとも自由が欲しそうじゃなくてさ。だから俺。本当に最低なんだけど、あいつのこと、死んだことにしちゃおうって思ってた。その方がラクになれるかなって思ってた。そしたらさー、変な幻覚も見えるようになるしさー。もう、よくわかんないよね。

安室 ……ホテル行ってないですよ。

白田 え？

安室 彼女に怒られるからーって言って、帰っていきました。白田さん。

白田 (泣き笑いで) なんで今そんなこと言うの？

安室 いや、だって。

白田 そっか。

鳥栖　で、その犯人を見つけてるのが俺の仕事かな？

臼田　見つけて、調べて欲しいんです。そいつのこと。

鳥栖　調べる？

臼田　そいつがどんなやつなのか。どうしてそんなことをしたのか。

鳥栖　知ってどうするの？

臼田　全部知って、直接会います。

鳥栖　殺すの？

臼田　準備はします。結局俺は、正義っぽい、かっこいい復讐に逃げてただけなんですよ。俺の本当にしたい復讐は、私怨も私怨。後に何も残らない。腐った下水道みたいな、そんな復讐なんです。

鳥栖　いいよ。それで臼田ちゃんが俺のことを漏らさないなら、引き受けよう。

明沙　ちよつと！

鳥栖　明沙ちゃんさー。臼田ちゃんにそっちの復讐させたくなかったんじゃないのー？　今の話聞いて思ったね。彼は、無理だよ。

明沙　別に。そういうのじゃないから。

臼田　じゃあ、お願いします。

鳥栖　おーけい。

○第五幕第五場

【BGM：Light Waltz】

【照明：道】

鳥栖、前面で酒を飲む。

そこに米尾が現れる。

米尾　あなたが鳥栖さんですか？

鳥栖　んー、うん。

米尾　はじめまして。私、紅新社の…

鳥栖　いやいや、知ってますよ。米尾さんですよね？

米尾　あ、はい。

鳥栖　お噂はかねがね。

米尾　　そうですか。

鳥栖　　で。何の話を私に？　監督オファーでは、なさそうよねー。

米尾　　担当直入に申し上げます。黒乃さん、いえ、弊社の社長が、今回の件、あなたが裏で糸を引いているのではないかと。

鳥栖　　事実無根だよー。

米尾　　黒乃はあなたとの面会を希望しています。

鳥栖　　そうそう。釈明動画見たよ？　どうしてあなたしか出ていないの？　黒乃が直接話せばいいのに。

米尾　　それは弊社の事情ですの。

鳥栖　　火に油だからだろ？　悪人顔だもんなーアイツ。アイツが事実無根と言ったとて、世間の誰が信用するもんか。

米尾　　どうしてこんなことを？

鳥栖　　今回の件で自分たちのやっつてることが身に染みたんじゃないの？

米尾　　どういうことですか？

鳥栖　　君たちは事実無根だと言うが、世間の目には真実だと映っている。まさに君たちが目指してるものじゃないか。つくっているのは偽物だけど、そこにはリアリティを持たせることで、大衆の心を欺く。事実かどうか、真実かどうかは関係ない。それっぽく見えればいい。大事なのは、真実じゃない。真実相当性だ！　それが君たちの言い分だろう？　ほら？　今、まさに！　自分たちで作ってるモノに反して、君たちは事実がどうだかを探している。真実を追求しようとしている。自己矛盾を起こしているんだよ。

米尾　　近く、紅新社は記者会見を開きます。

鳥栖　　記者会見？

米尾　　社内の悪事に関わった社員を一斉処分する発表です。

米尾、1枚のリストを鳥栖に渡す。

鳥栖　　これは。

米尾　　見覚えある方々でしょうか？　鳥栖組？　でしたっけ？

鳥栖　　どこでこんなリストを。

【BGM：バトルビート】

明沙、出てくる。

鳥栖 どういうこと？ ちょっとこれは許されることじゃないなあ。

明沙 ごめんなさい。もういっかなーってなっちゃいました。

鳥栖 もういっかなー？

明沙 やっぱ幻想は幻想だし、創作は創作なのかなーって。

鳥栖 はあああ？ なんだそれ？ 偽物のクリエイティブを作りすぎて頭が

おかしくなったのか？

明沙 私、善吉はいつかきつと、とっても面白いものをつくるんじゃないかな
って思っちゃったんですね。

鳥栖 肩入れしすぎじゃない？ 目が曇ってる！

米尾 あなたにはクリエイターとして大事な視点が欠けています。

鳥栖 大事な視点？

米尾 関わった人たちがみんなが、「この作品に関われてよかった。」と思える作
品づくりをすることです。

鳥栖 関わった人たちがみんなハッピー？ だからお前らのやってることはお
遊戯会になるんだよ。気持ち悪い偽善と、ルールと、嘘くさい賛美に塗れたク
ソみたいなクリエイティブだ！

米尾 あなたのような方はクリエイティブに携わるべきではないという時代
の流れでは？

鳥栖 はー？ 逆だろ？ 弱い奴がクリエイティブをつくるな！ 前提
条件がズレてんだよ。魂削れない、カッコだけの奴がクリエイティブに関わっ
てくるから、作品より自分を大事にして、ピーピーピーうるせえことを吠
えてくるようになったんだろ？ 俺たちの仕事はそういう仕事だろうがよ！
魂削って、ホンモノをつくるんだ！ 作品より重視されるものはない！ 違
うか？ バカな大衆や魂削れない雑魚に構って真のクリエイティブが作れる
か？ 時代の流れ？ 嘘つきどもが増えたただけだ。本音で語れねえ、建前だ
らのクソがウジャウジャ湧きやがる。

米尾 前時代的ですね。私から見ればあなたは、現代社会の精神アップデート
についてこれなかった流行遅れの亡者です。

鳥栖 流行遅れが、時代に即してないことが悪いことだとは俺は思わない。大
切なのは何が真に面白いからだ。

明沙　じゃあ作ればよかったじゃないですか？
鳥栖　は？

明沙　鳥栖さんの思う面白いものを。そしたら私たちも。

鳥栖　時代がそれをできないようにしたんじゃない？　だから俺は。

米尾　時代のせいにして逃げるんですか？

鳥栖　逃げてない。

米尾　あなたは時代に順応した黒乃さんが羨ましいだけではいんですか？
だからこんなやり方で。

鳥栖　違う！

米尾　……黒乃さんからの伝言です。

鳥栖　伝言？

米尾　「こういう議論を若いクリエイターたちに聞かせることは大変有意義だ
と思います。ぜひ番組内で対談しませんか？」だそうです。

鳥栖　なめてんのか？　それが記者会見の引き換え？　番組内で対談？　そ
うやって俺を大衆に晒して、世間に俺を叩かせようってか？　そんなもって

再生数稼ぎか！　余念がないねえ！　おことわりだね！　そんなもん。

米尾　では、出演はご辞退されるということで。

鳥栖　待った！

米尾　はい？

鳥栖　ちよーっと時間をくださいよ。

米尾　時間？

鳥栖　そりゃ、急にそちらの土俵には出ていけないじゃない？

米尾　わかりました。そのように申し伝えます。

鳥栖、米尾、明沙、去る。

○第五幕第六場

【照明・夜】

八雲　謝罪の権利もねえってよ。
すてら　そうみたいね。

八雲 ただ。

すてら ただ？

八雲 実感は湧いたよ。

すてら 実感？

八雲 改めて俺は許されなかったことをした。俺は結局自分が辛いことを辛いと思えない人間で、他人の辛さとかじゃなくて自分の辛さっていう物差しでしか人生を測れない人間だって目の当たりにしたのがそれはそれで辛い。

すてら 私は人生そこそ楽しいよ？ でもね、それでも時々思うよ。私なんて生まれてこない方がよかったのかなあって。

八雲 ……俺、行くわ。

すてら あの公園？

八雲 うん。

すてら そか。ついていこっか？

八雲 必要ない。

すてら そか。

八雲 俺がその人に殺されることで、その人がちよつとでも救われるなら、その人生、それでもいいや。

すてら そか。

八雲 じゃあな！

八雲、去る。

雨がポツポツ降ってくる。

すてら また、ね。

【照明…暗転】

【BGM 雨の音】

○第六幕第一場

【照明…豪雨 雷】

雨が降る公園。

傘もささずに体を濡らした八雲が立っている。
しばらく周りを見渡した後。

八雲 1時ですよー！ 1時になりましたよー！

間。

八雲 1時ですよー！ 1時になりましたよー！

間。

八雲 いるぞ！ 俺は！ ここに！ 俺はここにいるぞ！

そこへ、ゆっくりとずぶ濡れの白田が現れる。
白田はナイフを持っている。

白田 ……こんばんは！

八雲 こんばんは！

白田 お待たせしました！

八雲 (紙を放り投げて) これ！ あんただろ？

白田 ああ！ それ！ 俺だ！

八雲 なんで！ 今更！

白田 今更？ お前の中ではもう過去になってんのか？

八雲 そういう意味じゃねえよ！

白田 じゃあなんだ？

八雲 なんでもっと早く殺しに来ないんだってことだよ！

白田 なんだ？ 殺されたかったのか？

八雲 そういう意味じゃねえよ！

白田 お前！ あの時いたな！

八雲 あの時？

白田 ムービー登竜門！

八雲 ああ。いたな。

白田 カメラ！ 止めなかったな！
八雲 ああ。止めなかった！
白田 なんて？
八雲 しらねえよ！
白田 答える！ どうして止めなかった？
八雲 ……面白そうだと思ったんじゃないの？
白田 お前！ モノづくりが好きなのか？
八雲 そうでもねえよ！
白田 俺はさ！ 好きだよ！
八雲 はあ？
白田 俺でもあそこは、止めない！
八雲 そうかよ！
白田 俺でも、止めない。
八雲 ……殺しに来たんだろ？ 殺せよ？
白田 なんて？
八雲 なんて？ 俺は酷いことをした。だから罰を受ける！ 何か間違ってるか？
白田 なあ、俺は、調べたよ。
八雲 何を？
白田 お前のことをだよ！
八雲 俺のこと？
白田 お前！ なんで後悔してんだよ！
八雲 は？
白田 もっと悪いやつでいてくれよ！ なんて、ずっと胸を苦しそうにしてんだよ！ 生きてるのが辛そうにしてんだよ！
八雲 ……。しらねえよ。したくてしたけど、したくてしたんじゃないやねえんだよ
俺は！
白田 はあ？
八雲 止まらなかったんだ！ あの日！ 俺はここで！ 止まらなかった！
白田 止まれただろ？
八雲 止まれなかったんだよ！
白田 俺は知ってるぞ！ 調べたから！ お前は止まれる人間だ！ 気づ

け！ 生まれなかったんじゃない！ お前は、自分でアクセルを踏んだんだ。
八雲 ……。

白田 仕方がなかったことにするな！ お前が、この公園でゆのに1年前何を
をしたか！ 1年前お前は生まれなかったのか？ 違う！ お前が自分で動
いたんだ！

八雲 ……違う！ 俺は生まれなかった。仕方がなかったなんていうつもり
はない、でも俺は。

白田 迷うなよ！ 挫けるなよ！ ちゃんと殺されるべき存在であってくれ
よ！

八雲 ……。

白田 お前は俺のことを知らないだろ？ 俺のことを話そうか？

八雲 知ってるよ。

白田 え？

八雲 知ってるよ！ 全部読んだよあんたの企画書！ 泣いた！

白田 泣いてんじやねえよ！ お前に泣く権利はないだろ？

八雲 わかってる。わかってるけど。泣いた。今も見えてんのか？ 幻想は？

白田 見えてる！ そこにいる！

八雲 そこ？

ゆの、白田の指さす方向で傘を差して佇む。

白田 傘を差して、俺たちを見てる！

【BGM…髭と口紅とバルコニー】

八雲 喋るのか？

白田 今はしゃべらない。二人きりの時に話す。

八雲 そうか。

白田 俺のことを褒めてくれる！ 全然大したことない俺のことを！ あい
つはいつつも世界で一番みたいに言ってくれる！ 楽しい話をしてくれる！
俺はいつつもあいつにもらってばかりで。何にも！ 何にも返せてない！
何も返せないまま、こうなっちゃった。

八雲 そうか。俺はな！ 夢を見るよ！

白田 夢？

八雲 きつとあの夢は、あんたの夢だ！ 楽しそうに話して！ 楽しそうに

ご飯食べて！ 楽しそうに歌を歌って！ 俺はそれが辛い。

白田 俺は妄想が嫌いなんだよ！

八雲 俺も嫌いだ。

白田 現実から逃げても意味がない。だから来た。

八雲 そう思う！ だから俺もここに来た。

白田、ナイフを投げる。

八雲 なんで捨てた？

白田 わかったから！

八雲 何が？

白田 俺は、お前のこと、殺せないよ。

八雲 なんで？

白田 お前の人生は、お前が幸せに生きるための人生だ。

八雲 はあ？

白田 俺の人生は、俺が幸せに生きるための人生だ。

八雲 だから俺はそれを奪ったんだろ！

白田 そうかもな。そうかもしれない。でも、俺はお前の人生を奪う気になれない。

八雲 なんでだよ！

白田 ゆのは生きてる！ 勝手に自分の人生に絶望してたのは俺だからだ！

八雲 はあ？

白田 お前、夢を見るんだろ？ 俺は見ない。そこにゆのは立ってるけど、それも認めてない。だってそうだろ？ ゆのは生きてるんだから！ 俺は生きてるゆのにちゃんと向き合わなきゃいけない。

八雲 ちゃんと向き合う？ 何言ってるんだ？ 記憶が戻ったら！ 記憶が戻った時のお前の恋人は、トラウマも蘇るぞ。だってそうだろ？ そしたらお前。

白田 それでもだ！

八雲 狂ってんな！

白田、泣きながら八雲を殴る。

白田 狂ってたらどれだけラクか！

八雲 はあ？

白田 狂ってたらずっと妄想の世界で生きてけばいい！ 狂ってればずっと逃げていられる！ お前だってそうだろ？ 夢だってわかっているから辛いんだ！ 幻想だってわかっているから辛い！ 半分はまともだから苦しいんだよ！

白田、八雲を殴り続ける。

八雲 頼む！ 頼むよ！ 殺してくれ。このまま殺してくれよ！

白田 いやだ。殺さない。

八雲 頼むよ！ もう辛いんだ！ もう嫌なんだ。

白田 殺さない。殺さない！ お前も生きるんだよ！

八雲 無理だよ！

白田 無理しろよ！ お前は無理するんだよ！ 無理してでも生きろよ！
八雲 あああああああああああああああああああああ！

雨の音。

【照明…暗転】

○終幕

【照明…白】

【BGM…チャイムの音】

ずぶ濡れのままの白田の前に牝小路。

牝小路 どうしたんだその格好？

白田 結婚を反対されて以来ですね。

牝小路 ……ムービー登竜門以来だ。

白田 ああ。あの時は無視してくれてどうも。

牝小路 仕事とプライベートは分ける。

白田 じゃあ、企画が通ったのは、実力って思っているんですね。

牝小路 ……ああ。

白田 そうですか。

牝小路 何の用だ？

白田 ゆのに会わせてもらえませんか？

牝小路 それはできない。

白田 お願いします。

牝小路 もし記憶が戻ったらと思うと私は。

白田 ゆのはそんなに弱くない。

牝小路 君があの子の何を知ってる。

白田 上京してからの彼女のことは、お父さんより、知ってます。

牝小路 ……。

ゆのが入ってくる。

ゆの 大丈夫ですか？ どうしたんですか？ その格好！

牝小路 いや、気にするな。もう帰ってもらおう。

ゆの シャワーとか？ 入った方がいいですって。ねえお父さん。お仕事の人
でしょ？

牝小路 いや。

ゆの 今タオル持ってきますね。

ゆの、タオルを取りに戻る。

白田 シャワー、お借りしてもいいですか？

牝小路 いいのか？

白田 はい？

牝小路 記憶が戻るかもわからない。戻ってもどうなるかわからない。戻らな
かったら、君はまた1から。

白田 その覚悟を、してきました。

牝小路 ……入りなさい。

白田 ありがとうございます。

【照明…一瞬暗転】

【シャワーの音】

【照明…スポット】

白田の汚れた服を畳みながら。

ゆの ♪にぎやかだった街も、今は声を静めて、何を待っているのか、何を待っているのか。いつもいつの時でも、僕は忘れはしない、愛に終りがあって、心の旅が始まる。

【照明…暗転】

【BGM…あの素晴らしい愛をもう一度】

幕